

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人
名張市社会福祉協議会

目 次

I 総務課	
1. 法人運営事業	
II 地域福祉課 地域福祉係	
1. 地域福祉推進基盤の整備	
2. 暮らし応援ネットワーク事業（小地域福祉ネットワーク事業）の推進	
3. ボランティアセンター事業の推進	
4. 災害福祉活動基盤の整備	
5. 地域貢献活動の推進	
6. 地域福祉活動財源のための各種募金活動の推進	
7. 地域福祉活動等助成事業の推進	
8. 総合福祉センターふれあい貸館業務の適正実施及び社協総合窓口としての機能強化	
III 地域福祉課 生活支援係（なばり暮らしあんしんセンター）	31
1. 多様な生活福祉課題に対応するための基盤整備	
2. 認知症や知的障がい・精神障がい等があっても、地域で安心して暮らせるための伴走型支援	
3. 生活困窮者支援を通じた社会的孤立防止	
1 自立相談支援事業	
2 就労準備支援事業	
3 家計改善支援事業	
4 被保護者就労支援事業	
5 被保護者就労準備支援事業	
6 地域福祉金庫貸付事業	
7 生活福祉資金貸付事業	
IV 介護支援課	40
1. 介護保険事業	
2. 名張市老人福祉センター指定管理事業	
3. 一般介護予防事業	
4. 健全経営体制の基盤整備・業務効率の向上	
V 昭和保育園	50
1. 事業の概要	
2. 適切な運営体制確立	
3. 特別保育事業	
4. マイ保育ステーションの取り組み（地域の子育て支援事業の推進）	

I 総務課

1. 法人運営事業

(1) 市民に信頼される持続可能な法人の基盤づくり

1. 経営マネジメント体制の見直しと適正な会務運営

1. 理事会・評議員・監事監査の適正な運営、活性化

・以下の表のとおり役員会を開催し、法人の円滑な運営を図るため、本会の経理規程、就業規程、給与規程等の改正を行いました。

・令和7年度から指定管理事業（総合福祉センターふれあい・老人福祉センター「ふれあい」）の在り方が見直されることの報告を行い、今後の対応を協議しました。

ア. 理事会の適正実施

開催日	議案及び審議事項
第1回 6月11日(火)	議案第1号 令和5年度社会福祉法人名張市社会福祉協議会 事業報告及び附属明細書の承認について 議案第2号 令和5年度社会福祉法人名張市社会福祉協議会 計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認について 議案第3号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 経理規程の一部改正について 議案第4号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 就業規程の一部改正について 議案第5号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 非正規職員就業規程の一部改正について 議案第6号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 給与規程の一部改正について 議案第7号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 非正規職員給与規程の一部改正について 議案第8号 令和5年度社会福祉法人名張市社会福祉協議会 地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 議案第9号 令和6年度社会福祉法人名張市社会福祉協議会地域福祉活動助成事業にかかる審査について 議案第10号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 組織構成会員の入会について 議案第11号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 評議員候補者の推薦について 議案第12号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 役員候補者の決定について 議案第13号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 定時評議員会の日時及び場所、目的である事項の決定について
第2回 8月27日(火)	議案第14号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 給与規程の一部改正について 議案第15号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 非正規職員給与規程の一部改正について
第3回 12月9日(月)	議案第16号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 定款細則の一部改正について 議案第17号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 補正予算(第1号)について

	議案第18号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 第2回評議員会の招集について
第4回 3月18日(火)	議案第19号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 積立金管理規程の一部改正について 議案第20号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 補正予算(第2号)について 議案第21号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 補正予算(第2号)に伴う積立資産の積立について 議案第22号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 育児・介護休業規程の全部改正について 議案第23号 令和7年度 社会福祉法人名張市社会福祉協議会事業計画について 議案第24号 令和7年度 社会福祉法人名張市社会福祉協議会予算について 議案第25号 令和6年度 第3回評議員会の招集について 議案第26号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 役員候補者の決定について

イ. 評議員会の適正実施

理事会で認定を得た事業計画・予算、事業報告・決算等重要事項の議決の他、役員の選任について承認を得ました。

開催日	議 案
第1回 6月26日(水)	議案第1号 令和5年度社会福祉法人名張市社会福祉協議会 事業報告の承認について 議案第2号 令和5年度社会福祉法人名張市社会福祉協議会 計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について 議案第3号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 役員の選任について
第2回 12月19(木)	議案第4号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 補正予算(第1号)について
第3回 3月27日(水)	議案第5号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 補正予算(第2号)について 議案第6号 令和7年度 社会福祉法人名張市社会福祉協議会事業計画について 議案第7号 令和7年度 社会福祉法人名張市社会福祉協議会予算について 議案第8号 社会福祉法人名張市社会福祉協議会 役員の選任について

ウ. 監事監査の適正実施

事業運営と財務管理に係る監事監査を年2回実施しました。

実施日	議 題
決算監査 5月31日(金)	監査事項 1) 令和5年度 事業報告 2) 令和5年度 決算報告 3) 理事・監事、評議員等の出席状況について 4) 役員会等運営及び財務会計に関する事務処理に係るチェック 他
中間監査 11月26日(火)	監査事項 1) 令和6年度上半期の事業報告

	2) 令和 6 年度上半期の決算報告 3) 理事・監事、評議員等の出席状況について 4) 役員会等運営及び財務会計に関する事務処理に係るチェック 他
--	--

エ. 外部監査

実施期間	監査名称	対象事業等	監査人
7月18日(木)	社会福祉施設指導監査	昭和保育園	三重県
令和 7 年 1 月 16 日(木)	財政援助団体等監査	地域福祉増進事業	名張市

オ. 種別会の開催

令和7年度は役員の任期満了に伴う一斉改選となることから手順に基づき、種別会を開催しました。

種別	開催日	団体種別	参加団体数
3 種	令和 7 年 3 月 12 日(水)	社会福祉事業施設	10団体
4 種	令和 7 年 2 月 23 日(日)	当事者団体等	8 団体
6 種	令和 7 年 2 月 23 日(日)	その他社会福祉に関係のある団体	6 団体

【内容】

- ・会員制度と組織構成について
- ・理事会及び評議員会の決議事項について
- ・理事及び評議員候補者の選出について

2. 組織マネジメント体制の強化

① 経営会議の実施

- ・令和7年度以降の法人本部や組織体制についての検討を行いました。
- ・令和7年度の指定管理事業（総合福祉センターふれあい・老人福祉センター「ふれあい」）への対応について協議しました。
- ・最低賃金の改定に合わせて、ベースアップ手当や非正規職員時間給の引上げを協議するとともに、給与制度改正に向けた検討を行いました。

② 運営連絡会議の実施

- ・各事業、系の運営課題を協議検討しました。

③ 組織ガバナンスの基盤整備のための組織改編

- ・法人本部機能の再構築に向け8月に人事異動を行い、空白となっている部署へ職員を配置し、基盤強化を図りました。また令和7年 2 月からは総務課の体制を整えるため管理職が課を超えて事業運営にかかわること、法人本部の機能不全を解消するとともに、運営の安定を目指しています。

2. 地域福祉活動財源の確保と健全で安定的な財務基盤の確立

1. 多様な財源の確保・活用

① 民間財源

- ・名張市共同募金運営委員会と連携し、地域福祉活動助成のための財源確保に向けて取り組みました。

- ・公益性や市民ニーズが高い事業へ助成できるよう善意銀行の運用を進めました。
- ・市内行政書士と連携し遺贈寄附の啓発に取り組みました。

② 公的財源

- ・市の財政状況が悪化している中ではありますが、地域福祉増進事業費の確保のための市の担当部局と協議、検討を重ねました。

③ 事業収入財源

- ・介護報酬改定、保育園委託費加算等への対応を行い、各事業ともに堅調です。
- ・指定管理事業の見直しに伴い令和7年度1か年の契約を更新しました。令和8年度については、市の方で様々な事業展開をされるため、令和8年度以降の契約についても情報共有を行い契約の更新について検討を行っていきます。

2. 社協会員の拡大、増強による基盤強化

① 社協会員加入促進

- ・6月社協会員増強に向けた取り組みを行い、自主財源の強化に努めました。

② 組織構成会員の拡大促進と種別会の実施

- ・令和7年2月、3月に種別会を開催しました。関係団体との情報共有を図るとともに会員拡大に向けた取り組みを検討しています。しかし、5種では入会される団体がある一方で休会や活動を中止される団体が相次ぎ拡大にはつながっていません。（令和7年3月末時点）

種別	令和6年3月	令和7年3月
第1種	15	15
第2種	1	1
第3種	13	13
第4種	12	13
第5種	123	124
第6種	25	24
第7種	1	1
第8種	2	2
合計	192	193

3. 計画的・安定的な財務運営

- ・事業実績等を踏まえ、将来必要とする費用を計画的積立計上し、安定的な財務運営に努めています。

3. 人事労務管理機能の基盤強化による人材の確保・定着促進

1. 人事労務管理機能の基盤強化

① 適正配置に向けた取り組み

- ・収入財源と連動させるため、「給与制度見直し検討会」で要員計画を作成しました。

② 人材育成に向けた取り組み

- ・専門職研修は各課で受講し、法人全体として各課のキャリアアップを勧める職員を対象に県社協で開催されるキャリアアップ研修に参加できるようにしました。
- ・各部署選抜で中間層職員対象にリーダー研修（県社協主催）に参加しました。

外部研修

係	内容	備考
地域福祉係	令和6年度キャリアパス対応生涯	1名(3b級)
生活支援係	研修課程 「チームリーダーコース」	1名(4級)

内部研修

実施日	研修名	参加者数
令和6年 8月26日(月)	マイナンバー研修	7名
10月11日(金)	セルフケア研修	33名
令和7年 2月26日(水)	ラインケア研修	18名

管理監督者によるメンタルヘルス(ラインケア)研修の実施を実施するとともに、非正規職員も対象とした、セルフケア研修を実施し、職員自身が心の健康についての理解や、セルフチェックを行う機会を設けました。

③ 人事考課・目標管理制度の適正化に向けた取り組み

・考課者の標準化におけ、社労士の支援を受け、考課者研修を開催しました。

実施日	研修名	参加者数
令和6年 8月9日(金)	新考課者研修	5名
12月23日(月)	考課者研修	10名

2. 労務管理の適正実施

・社労士打合せ(9回/年)

主に、「正規職員初任給及び給与表等の見直し」「定年制度の見直し」「両立支援の取組み推進」について協議しました。

① 正規職員初任給及び給与表等の見直し

・社労士の支援を受け、三重県の最低賃金の大幅な上昇に合わせ、既に支給しているベースアップ手当の上限額を改訂し、10月より支給金額を変更しました。また、令和7年4月改正を予定していた給与規程見直しについては、将来の職員給与の財源や制度設計の検討に時間を要することから、改正時期を令和8年4月に延期し、引き続き検討を進めました

・パートタイム・有期雇用労働法に基づき、正社員と非正規職員との間の不合理な待遇差を解消するために、特別休暇の性質・目的を見直し、非正規職員も正規職員と同様に有給で取得できるよう就業規程を改定しました。「夏季休暇」については「リフレッシュ休暇」と改め、休暇の期間を1年間と改めました。

② 定年の引上げ等65歳までの雇用確保制度の検討

・60歳以降の給与の在り方等を含め、「給与制度見直し検討会」で協議しています。

③ 安全衛生管理

・安全衛生委員会で職場巡視に基づく評価、改善案を策定し、職場の安全衛生管理に取り組むとともに、産業医による職場巡視を2か月に1回実施しました。また必要に応じて講話を行っていただき、職場の安全衛生管理に努めました。

ア. 職員衛生委員会の開催(12回/年)

【協議内容】

・職員衛生委員会(安全衛生管理体制)について

- ・令和6年度 職員衛生委員会重点事業(目標)について
- ・次世代育成及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画
- ・職場巡視計画の実施について
- ・ストレスチェック結果の分析
- ・年次有給休暇取得状況について
- ・労働災害の発生事象の報告及び対策について
- ・月別ノー残業デー実施状況について
- ・月別時間外勤務の状況について
- ・メンタルヘルス研修について

イ. 安全推進部会(4回/年)

【協議内容】

- ・部会長、副部会長の選出について
- ・安全推進部会のメンバーについて
- ・職場安全推進チェックシートについて
- ・衛生管理者の巡視のチェックシートについて
- ・職場巡視について

ウ. 職場巡視(4回開催)

【講評内容】

- ・3S(整理・整頓・清掃)再確認
- ・ロッカー棚上の落下危険箇所
- ・電源コードの改善
- ・感染症拡大防止のため湿度の確認

【講話内容】

- ・感染症に関する講話(コロナウイルス、インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎)

エ. リスクマネジメント対策

- ・リスクマネジメント委員会を半期ごとに開催し、各係内で発生した事故、ひやり・ハット案件について共有と対策を提案しました。

開催日:令和6年11月19日(火)、令和7年3月19日(水)

④ 両立支援の取り組み推進

育児・介護休業法の改正に伴い、育児・介護休業規程の改正を行いました。柔軟な働き方を実現するための措置については、時短勤務または時差出勤から選択できることとし、仕事と育児の両立を図れるよう法施行より前倒して施行しました。また、対象となる職員に個別に制度の案内、周知及び意向確認を行いました。介護離職防止のため仕事と介護の両立支援制度に関する情報提供と利用しやすい雇用環境整備等の措置を講じました。

⑤ ハラスメント防止に向けた取り組み

カスタマーハラスメント対策として、利用者からの相談に応じる職員が不当な要求により職員の就業環境が害されることを防ぐため、個人を特定されることのないよう、名札の表示を平仮名表記で名字のみとしました。

4. 経営改善、事業継続に向けた取り組みの推進

1. 指定管理事業・委託事業の適正化

① 指定管理事業（名張市）

・令和7年度より総合福祉センターふれあいと老人福祉センター「ふれあい」が一体的な施設として指定管理されることにともない、市担当部局と協議を重ねました。

・指定管理事業にかかる予算（案）を提示し、より適正な事業継承に向けた提案を行いました。

② 委託事業

・委託事業内容に応じた人員配置、事業費・事務費積算に努め、委託事業を所管する部署と交渉を進めました。

2. 経営改善に向けた経営成績及び財務状況の把握

① 管理会計に基づく経営管理

・管理会計を把握する職員の育成には至っていませんが、顧問税理士の指導の元、予算管理及び適正な会計は行えています。また、財務状況の内容は健全であることを把握しています。

3. 法人全体の事業継続計画（BCP）の策定

① 事業継続計画（BCP）自然災害版

・運営連絡会議において課題等は提案されるが、法人全体の BCP 計画は策定できていないのが現状です。災害備蓄のローリングストックの在り方や発災時の職員初動などについては運営委員会等でも続けて検討していきます。

5. 生産性の向上、ICT 化推進・情報セキュリティ

1. 業務効率・生産性の向上

① 生産性向上に向けた事務事業の省力化

・法人全体の ICT 化推進に向けた調整は行えていません。文書事務の電子化、ペーパーレス化の推進については電子帳簿法等の義務化により、見積書、請求書などの取扱い、保存について推進しています。

② ビジネスチャットツールの試験的導入

・法人内ビジネスチャットツールについては、近隣社協の取り組み状況等の聴き取りを行いました。

2. 情報セキュリティ

① 情報セキュリティ

・法人が所有する情報は内部ネットワーク（TERA）で管理しています。情報セキュリティのレベルを上げるためにはクラウドサービスの利用等、情報セキュリティ対策の検討が必要であるため、使用ガイドラインや災害時の運用情報の収集を行いました。

② 個人情報保護の徹底

・特定個人情報保護担当者の変更などに伴い、内部研修を実施しました。

・TERA の経年劣化に伴い本体の更新を行い、法人データの保全に努めました。

・Windows 10 の更新サービス終了に備えアップグレードできない PC を洗い出し、買い替えを行いました。

3. 情報管理と広報活動

計算書類等を社協だより「ほほえみ」やホームページに掲載し、積極的に情報を公開しました。

広報作業部会を中心として、社協が行う事業やさまざまな活動状況を紹介するとともに、地域福祉やボランティア活動、各種募金、相談業務の案内等積極的な情報発信に努めました。

① 名張市社会福祉大会の開催と福祉功労者の顕彰

・第53回名張市社会福祉大会を10月26日(土)、名張市武道交流館いきいきにおいて開催しました。感染症等予防に努めながらも、収容人数を緩和し、福祉功労者の顕彰を行いました。

② ホームページを活用した情報公開と発信

・ホームページ上で社協の概要、活動内容、計算書類等の情報を公開するとともに、福祉やボランティアの情報、イベントや各種募金について情報を発信しました。

情報公開と情報発信をする場としてのホームページを適切に運営・管理するため、随時情報を更新し、利用者や参加者の利便性の向上を図りました。(月平均アクセス数 11,918件)

③ 社協だより「ほほえみ」の発行

・伊賀タウン情報ユーへの折込みにて社協だより「ほほえみ」を年6回(奇数月)発行し、より多くの家庭へ届くように、積極的な情報発信を行いました。

6. 安心・安全な施設管理の徹底

1. 施設・設備・備品の保守・安全管理

1. 施設の維持管理

① 総合福祉センターふれあい及び老人福祉センター「ふれあい」

・施設の維持管理

施設、設備の保守点検・修繕による安全管理の徹底

ア. 施設の管理状況

・総合福祉センターふれあいの指定管理者の指定を受け、福祉関係団体や市民のみなさまが安心、安全に集う場として活用されるよう、施設及び設備の保守点検・修繕等を実施しました。

築29年が経過し、施設、設備の老朽化が顕著となっているなか、令和7年度には3階老人福祉センター「ふれあい」と一元化されることになったことから、今後の3階の活用に向けて空調設備等の更新を提案し、快適に利用できる環境を整えられるよう要請を行いました。また、人件費の上昇及び物価高騰が続く中、質を落とさず保守点検業務を実施できるよう契約交渉に取組みました。

主な管理項目	費用
警備業務委託	554,400円
自家用電気工作物保安管理業務委託	488,400円
昇降機保守点検業務委託	1,211,100円
駐車場管制装置保守点検業務委託	528,000円
構内交換電話設備保守業務委託	154,000円
清掃業務委託	3,650,689円
設備保守管理業務委託	10,243,200円
管理運営にかかる休日及び時間外業務委託	1,466,555円
冷却水系水処理剤投与委託	142,560円
総合福祉センター法面草刈委託	169,600円
その他(UPS 交換、ピアノ調律、場内草剪定)	485,100円
管理に要した費用合計	19,093,604円

イ. 施設の修繕状況

危険度や重要度を考慮し、名張市と協議しながら順次、修繕を行いました。

主な修繕箇所	ガス警報器更新取替工事、天窗ガラス割れ替え修繕、階段塩ビシート剥がれ修繕、ホール階段ノンスリップタイヤ取替修繕、2階多目的トイレベビーキープ改修工事、輪転機リソグラフ(ドラム)修繕、卓球台脚部修繕、1階ダウンライト更新工事、駐車場入り口コーナーガードの修繕、1階トイレ便器つまり修理、GHP(102系統)室外機修繕、駐車場街灯証明ランプ取替工事、1階男子トイレ手洗い排水管修理、バコティンヒーターE-1停止に伴う不良修繕
修繕に要した費用	2,005,480円

② 施設利用状況

卓球場としての利用が多い中、新規利用も増えつつあり利用者層も変化していることから、利用者へホールの特性を生かすことで、幅広い用途で使用いただけることを提案し、活用方法のPRに努めました。また、施設見学の依頼なども受入ました。

- ・臨時開館：ふれあいフェスティバル 11月17日(第3日曜日)
- ・会議、ホールの利用件数：1,388件
- ・利用料、参加費収入

内訳	令和5年度	令和6年度
会議室・ホール	2,000,840円	2,001,230円
駐車場	187,750円	167,250円
コピー・印刷代	274,902円	310,277円
卓球台	149,120円	105,930円
合計	2,612,612円	2,584,687円

③ 環境美化活動の計画的実施による施設周辺の管理

総合福祉センター内各事業所職員による美化活動として、年間を通じて施設周辺の除草作業や周辺歩道の落葉掃きをおこないました。

2. 施設利用者の拡大

利用者の意見は、センターふれあい内に設置した「ご意見箱」や窓口対応により把握し、施設サービスや職員の資質向上に努めました。

3. 防災対策

防火管理委員会の開催及び消防訓練の実施

① 防火管理委員会の開催

第1回 12月12日(木)

第2回 令和7年 1月31日(金)

② 消防計画に基づく消防、防災訓練の実施

大地震発生を想定し、各事業所職員を対象に消防・避難訓練を実施しました。

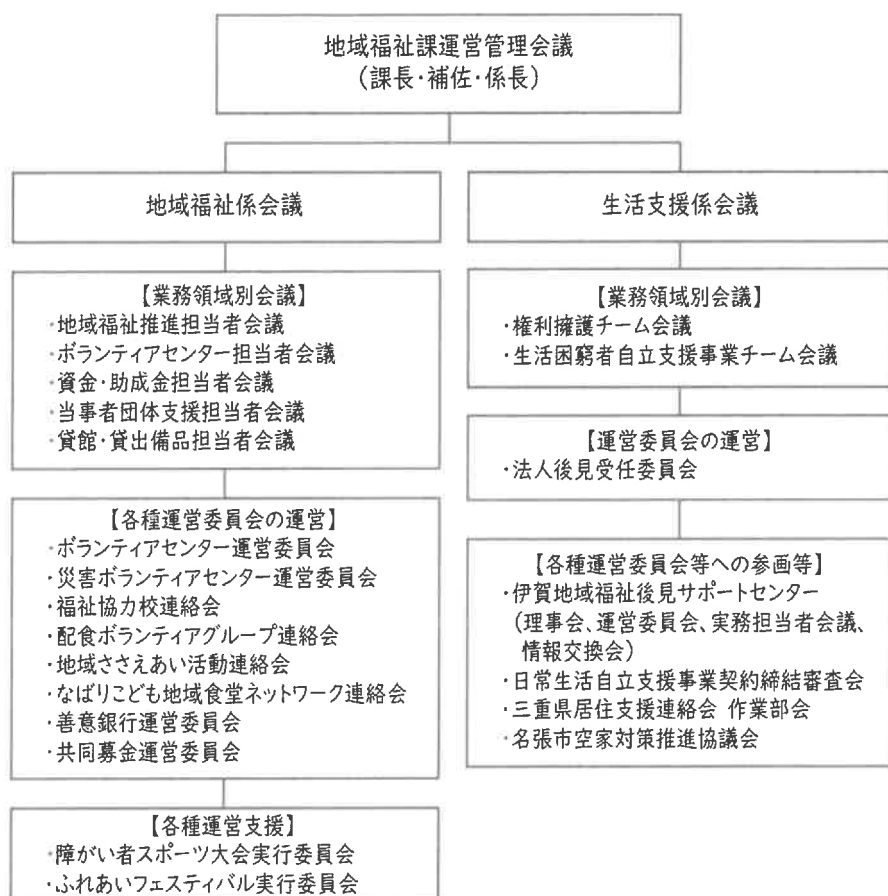
実施日	12月12日(木)15:00~16:00
訓練内容	防火管理委員会終了後、座学を実施し事業所ごとにできる消防訓練及び消火方法などを学びました。
実施日	令和7年 3月14日(金)13:30~15:00
訓練内容	地震発生後の出火を想定し、館内各事業所に参加を依頼し初期消火及び通報訓練を含む避難・誘導訓練を実施しました。

Ⅱ.地域福祉課（地域福祉係）

（Ⅰ）地域福祉推進基盤の整備（地域福祉課共通）

Ⅰ. 課運営体制の基盤整備

8月より運営管理体制が変更（地域福祉係長→課長補佐、地域福祉係主任→係長、生活支援係主任→係長）となり、新たな課運営管理体制を下図の通り整備し、多様な事業を適切にまた確実に推進することに努めました。



- ・係間の課題・情報の共有を行い、相互連携強化を図りました。
- ・各業務領域別については定例化、事業別については適宜開催することで、職員間のチーム力及び事業進捗管理・実践力の向上に努めました。

2. 専門性に基づく実践

専門性の向上、キャリア形成に向けた各種研修会の受講を計画的に進めました

(専門性の向上)

係	内容	人数
地域福祉係	・生活支援コーディネーター(基礎・応用)研修	1名
	・生活支援体制整備事業に関する研修	1名
	・ボランティアコーディネーション(基礎・応用)研修	1名
	・包括的支援体制と地域共生社会・共生社会実現に向けた総合研修会	1名
	・チームで街をデザインする包括的な支援体制、重層的支援体制整備事業セミナー	1名
	・災害時の連携について考える～行政、社協、NPOのつながりの必要性	1名
	・子どもの貧困対策フォーラム	1名
	・地域福祉実践研究フォーラム 2024in みえ	3名
生活支援係	日常生活自立支援事業専門員資質向上研修会	1名
	日常生活自立支援事業新任専門研修会	1名
	成年後見制度利用促進市町支援事業スキルアップ研修会	1名
	成年後見制度資質向上研修会	2名
	消費者生活相談員等勉強会	1名
	精神保健福祉基礎研修	1名
	多重債務相談研修	1名
	改正住宅セーフティネット法等に関する全国説明会	7名
	職業紹介責任者講習会	3名

(キャリア形成)

係	内容	備考
地域福祉係	近未来リーダー育成プロジェクト “コーチング”	1名(4級)

3. 計画的な地域福祉活動の推進

・令和6年度より「地域福祉活動計画」と「年度事業計画」を連動させることで、各職員の事業達成目標や役割を明確化し、各係事業が計画的に推進できるよう体制を整備しました。

・令和6年度より名張市地域福祉計画と名張市地域福祉活動計画を「名張市地域福祉(活動)計画」として一体的に策定することとなり、共同事務局として名張市福祉子ども部医療福祉総務室と連携しながら計画を進め、名張市における地域福祉推進基盤の整備に努めました。

名張市地域福祉推進協議会への参画	4回
医療福祉総務室との事前打合せ	7回
社協としての提案事項等	5回

主な提案

- ・地域福祉(活動)計画における計画構成(案)と社協事業との連動・整合性の整理
- ・地域福祉推進にかかる取組状況 等

委員会前後に打合せや委員会で出た意見の整理等を市の担当部局と行いました。

(2)くらし応援ネットワーク事業(小地域福祉ネットワーク事業)の推進

1.地域生活課題の把握

① 各地域での地域福祉実践、地域生活課題の把握と顔の見える関係づくり

- ・地域区長会や各单位民児協定例会及び福祉部会へ出席し、地域生活課題の把握やアウトリーチに努めました。
- ・地域サロンへの出前レクリエーションを通じて、ニーズや地区における取組現状を確認する機会を図りました。

② 地域実態の把握と社協としての情報発信

- ・地域づくり組織代表者会議や区長会等へ出席し、地域実情と課題および行政の方向性について情報共有を図りました。
- ・名張市民生委員児童委員協議会理事会へ出席し、高齢者福祉の実情や生活課題を把握しました。

地域名	回数	地区担当者地域福祉実践内容
薦原	7回	スクエアステップ指導(1回/月)、サロン訪問
美旗	5回	区長会への出席、イベント開催時の貸出備品等の相談対応 ささえあい活動支援
比奈知	5回	高齢者および子育てサロン、イベントへの参画
すずらん台	15回	福祉部会に参画を通じた事業推進支援、 サロン出前レクリエーション、ささえあい活動の継続支援、 地区社協主催事業への伴走支援 相談対応2件(居場所づくり立ち上げ、手話おしゃべり会)
桔梗が丘	20回	地域福祉懇談会への参画を通じた地域実情と課題整理、 認知症カフェ検討会議への参画 サロン出前レクリエーション、ささえあい活動の継続支援 スクエアステップ指導補助、スクエアステップサロンの現状調査 相談対応2件(高齢者サロン再開検討、救急医療情報キット)
名張	21回	福祉部会に参画を通じた事業推進支援、 名張地域ビジョンにかかる編集チーム会議への参画、 ささえあい活動の継続支援、 相談対応3件(世代間交流イベント、小学校登下校サポート等)
鴻之台希央台	3回	子育てサロンへの参加
蔵持	10回	サロンでの出前レクリエーション、まちじゅう元気PJへの参画 スクエアステップの指導
梅が丘	35回	地域づくり運営協力、まちじゅう元気(健康増進)イベント参画とスクエアステップ指導、ささえあい活動の継続支援
つつじが丘	18回	福祉部会に参画を通じた事業推進支援 ささえあい活動の継続支援、活動者交流会の開催補助 相談対応2件(ボランティア研修、配食活動)
錦生	15回	区長会(1回/月)区民運動会への参画(打合せと参加)、

		スクエアステップ指導
赤目	3回	子育てサロンへの参画、サロン運営支援、スクエアステップ指導
箕曲	3回	ささえあい活動検討会議への参画
百合が丘	15回	まちじゅう元気(健康増進)イベント参画、子育てサロンへの参加
国津	9回	サロンでの出前レクリエーション、ささえあい活動の継続支援

2. 生活支援・介護予防サービスの支援

生活支援・介護予防サービスの現状把握

1-1. 配食ボランティアグループ連絡会の開催

	日時	内容
第1回	9月26日(木)	情報交換 ・物価高騰の中での工夫 ・より活動を知ってもらうための広報、 ・食材(米)確保について
第2回	令和7年2月10日(月)	情報交換 ・助成金/社協、補助金/市 申請説明 ・配食弁当利用料の値上げ ・調理室の清掃、消毒方法について

1-2. 地域ささえあい活動連絡会の開催

	日時	内容
第1回	令和7年2月20日(木)	情報交換 ・補助金/市 申請説明 ・活動運営に関する現状について

1-3. ささえあい活動の現状把握

地域	内容
名張	隠おたがいさん 役員会 関係機関との交流会
桔梗	お助けセンター 運営会議 地域共生座談会
国津	ささえあいネットくにつ 役員会
すずらん台	ライフサポート 運営委員会
つつじが丘	生活支援センター 総会 活動者交流会
薦原	コモコモサポート 総会
梅が丘	ちょい・すけ 定例会

1-4. ふれあい・いきいきサロン交流会

日時: 令和7年3月26日(水) 13:30~15:40

会場:総合福祉センターふれあい ふれあいホール

参加者 41名

市内の高齢者・子育てサロン団体の運営者を対象に開催

開催内容

第1部	・名張警察署「ながら見守り」について ・株式会社ソバーニ「つながりコール」について
第2部	交流会「明日から使ってみたい、サロンプログラムのタネ」 ・ブース1 100円均一でできるワークショップ体験 ・ブース2 みんなで楽しめるレクリエーション体験 ・ブース3 社協の福祉貸出備品を使ったゲーム体験
第3部	意見交換「日頃のサロン活動について」

2-1. 介護予防・健康づくり活動の推進

まちじゅう元気!!プロジェクトとの連携

地域	内容
百合が丘、梅が丘、蔵持	・会議等の参加、事業実施支援 ・運営サポート、スクエアステップ指導

2-2. 出張スクエアステップ

・地域のイベントへブース参画をおこない、スクエアステップ体験を通して健康づくりを進めるとともに、初めて指導するスクエアステップリーダーが活躍する機会を図りました。

日時	イベント名	参加者
令和7年3月23日(日)	昔遊び	スクエアステップ指導員 1名 スクエアステップリーダー 1名

3-1. 担い手養成

スクエアステップリーダー養成研修

スクエアステップ協会や現役リーダーを講師に招いて、全5回養成研修を実施しました。

日時	実習箇所	参加者
12月6日(金) 令和7年1月16日(木) 1月23日(木) (他実習2日 全5回)	7箇所 つつじが丘、比奈知、 すずらん台、ふれあい 他	受講 14名、修了 14名

3-2. 地域ささえあい活動フォローアップ研修会

	日時	内容
第1回	7月4日(木)	・利用者へのかかわり方について ・講師:小規模多機能施設ひより
第2回	8月25日(日)	・運転協力者 ステップアップ講習 ・協力:いが移動送迎連絡会

3-3. 配食ボランティア研修会・交流会

開催日:令和6年9月26日(木)

【研修会】	【交流会】
・障害福祉における配食活動について	・会食を実際に食べてみよう
・講師:ワークプレイス栗 所長 内藤 親市氏	・普段の活動における意見交換

4-1. 地域の社会資源の整理

名張市社会資源システム「なばりんく」

システムを活用したインフォーマル資源情報の整理

・市との打ち合わせ(2回:7月1日(月)、8月7日(水))

3. 孤独・孤立を防ぐ居場所づくり事業の推進

なばり子ども地域食堂ネットワーク連絡会の開催

名張市子ども家庭室と連携しながら、なばり子ども地域食堂ネットワーク連絡会の開催を通じて、名張市内5団体が共同して活動啓発の新規共同企画の実施を進めることができました。

日時	イベント	内容
11月17日(日)	ふれあいフェスティバル	子ども食堂体験 模擬店ブースによる活動啓発 寄贈団体への贈呈式

なばり子ども地域食堂ネットワーク連絡会

	日時	参加団体
第1回	7月12日(金)	5団体
第2回	8月23日(金)	4団体
第3回	9月19日(木)	4団体
リーダー打合せ	10月3日(木)	各リーダー
第4回	10月31日(木)	4団体

座談会の企画実施

日時	参加者	内容
10月25日(金)	すずらん台4区民生委員1名 平尾区民生委員1名	つながりの希薄な要援護者情報を地域内でどのように共有連携を図っていくか

なばり暮らしあんしんセンターとの連携

社会とのつながりが困難な方の孤独・孤立防止のための相談会の開催に向けて、暮らしあんしんセンターと連携して検討しました。

4. 救急医療情報キットによる地域要支援者の把握

登録者数	・令和6年度新規登録者数:312世帯 493人 ・登録者数(3月末時点):3,882世帯 5,486人
普及啓発	・啓発チラシを新規作成し(1,000枚)、民生委員児童委員の協力により、見守りシート調査時にひとり暮らし高齢者や高齢者世帯へ配布していただき、必要な方へキットの新規利用促進の機会を図ることができました。

地域と連携した普及啓発	・一人暮らし高齢者の孤独死をきっかけに、桔梗が丘西自治連合会と連携してキット普及啓発を進めました 12月11日(水) 相談、連合会への提案調整 令和7年1月5日(日)・11日(土) 桔梗が丘西連合会へキット事業説明 1月・2月 計2回実施 各戸配布、新規申込を組長が受付、西連合会でとりまとめ後、一括社協受付 新規申込世帯数 36件、66名
情報更新と見守り	・9月 民生委員児童委員の協力 ・1月 名張市/まちの保健室の協力 令和7年1月22日(水) 全体まち保ミーティングにて依頼、説明

(3) ボランティアセンター事業の推進

1. 福祉まちづくりセンター休止に伴う対応

・福祉まちづくりセンター休止に伴い、ボランティアセンター(ふれあい)での相談対応を強化しました。

強化・整備内容

- ・ボランティア依頼表を新たに作成
- ・ボランティアセンターイベント一覧表を新たに作成
- ・個人ボランティアの区分整理
- ・ボランティア登録団体へ向けた今後の活動についてアンケート 調査の実施
- ・ボランティアコーディネーター研修(基礎・応用)参加による職員の専門力向上

・子育て支援員養成講座の開催

名張市子ども支援センターかがやきと共催で、子育て支援員の養成研修を実施しました。

地域の子育て事業や託児ボランティア、地域のひろば・子どもの体験活動事業に関わっていただく方の養成を目的に開催し、6つのコースで計10日間の研修を受講し修了証をお渡ししました。

・参加者 35名

日時	内容
6月7日(金)	会場:名張市教育センター 講義:「ボランティアの心得と役割・活動」 ボランティアコーディネーター 的場 栞那
6月13日(木)	会場:名張市教育センター 内容:グループ討議 ファシリテーター 的場 栞那、古谷 望
令和7年2月13日(木)	会場:名張市防災センター 内容:地域の広場関係者のための交流会

2. ボランティア活動を支える基盤づくり

・ボランティアセンター担当職員の配置および対応力の強化に努めました。

職員配置	ボランティアコーディネーター1名の配置に加えて、今年度よりボランティアセンター担当職員を1名増員し、ボランティア活動の相談支援対応を行いました。			
登録状況		令和6年度新規	3月末現在登録者数	
	団体	9	186	
	個人	11	48	
相談件数	・相談件数：241件（令和6年6月～令和7年3月） ・主な相談内容： 施設やサロン・地域づくり等で開催されるイベント等で活動していただけるボランティアの相談			
対応件数	・調整件数：53件 ・主な調整内容 施設やサロン・地域づくり等で開催されるイベント等のボランティアの協力依頼（マッチング） ・地域福祉活動備品貸出件数：560件 ・ボランティア活動保険加入件数：850名（内天災プラン 39名 能登半島地震への救援活動に行かれる方が市内の社協で保険に加入された）			

・ボランティアセンターの適正運営

ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアに関する現状や課題について検討・共有

	開催日
第1回	5月30日（木）
第2回	7月31日（水）
第3回	令和7年3月 4日（火）

3. 誰もが気軽に活動できる基盤づくり

ふれあいフェスティバルの実施	ふれあいフェスティバルを円滑に実施運営しました 日時：11月17日（日）10:00～15:00 会場：総合福祉センターふれあい 1・2・3階 参加数：34ブース、ステージ発表12団体 来場数：約800名
ふれあいフェスティバルの開催準備支援	・実行委員会開催支援 第1回（7月29日（月））、第2回（9月3日（火））、 第3回（10月7日（月））第4回（11月7日（木））、 第5回（12月5日（木）） ・チラシ配布（市内小中学校へ拡大） ・クイズラリーの企画提案
ボランティア連絡協議会との連携	定例会（毎月1回）への出席

4. 福祉の心を育む人づくりとボランティアを担う人づくり

・市内の小中高校生に対する福祉教育の推進に努めました。

また、「福祉職場体験」については、中高生だけでなく、社会人を対象とした「大人の学び直し」企画を実施しました。

・福祉協力校の指定と活動推進

	指定校/市内の学校数
小学校	14校/14校
中学校	5校/5校
特別支援学校	1校/1校

・福祉協力校連絡会の開催 2回(6月17日(金)、令和7年3月6日(木))

・校長会への案内(7月3日(水))

・アンケート調査の実施(3月)

・福祉出前講座の実施

実施校

学校名、学年	参加者数	開催日
名張小学校4年生	66名	6月24日(月)
箕曲小学校4年生	10名	9月19日(木)
つつじが丘小学校4年生	93名	10月10日(木)
北中学校1年生	91名	11月28日(木)
名張中学校1年生	169名	令和7年1月20日(月) 1月22日(水)
桔梗が丘南小学校4年生	31名	令和7年2月13日(木)
箕曲小学校4年生	参観	10月3日(木)
名張小学校4年生	参観	令和7年2月6日(木)

・社会福祉法人連絡会と連携した「福祉職場体験」の実施

夏休みを活用し、職場体験の機会を提供

協力施設数	14施設	高齢・障がい・児童
延参加者数	中学生	11名
	高校生	16名
	一般	4名

・実習受け入れ(つつじが丘小学校教諭1名)

8月19日(月)	つつじが丘民児協定例会、すずらん台スクエアステップ
8月21日(水)	つつじが丘地域交流部会会議、名張地区課題検討委員会

(4) 災害福祉活動基盤の整備

1. 令和6年能登半島地震への対応

- ・能登半島地震に対する支援が継続されるよう情報提供などに努めました。

情報コーナーの設置	ふれあい1階に情報コーナーを設置し、被災地の状況やボランティア募集状況などの情報発信
ホームページへの掲載	ホームページに「令和6年能登半島地震」情報コーナーをつくり、義援金・支援金募集状況を掲載
各種相談等	・災害ボランティア相談対応（TEL、窓口）の実施 ・ボランティア保険加入手続き

- ・令和5年度に引き続き、現地への職員派遣を行いました。

社協職員東海北陸ブロック派遣1名（33クール 6月9日（日）～6月15日（土））

- ・12月22日（日）災害ボランティア研修会で支援金と義援金に関する周知理解の機会を図るとともに支援金箱を設置し、珠洲市社協災害ボランティアセンターへ支援金を送金しました。

2. 災害ボランティアセンター運営体制整備

- ・災害ボランティアセンター運営体制の基盤整備に努めました。

災害ボランティアセンター登録者数	・令和6年度新規登録者数：15名 ・全登録者数：103名
災害ボランティアセンター運営委員会の開催	第1回（8月7日（水））、第2回（令和7年3月25日（火）） ・運営体制強化に向け、副委員長に名張市福祉子ども部医療総務室より選出

- ・災害ボランティアスキルアップ研修会の実施

令和6年能登半島地震 災害支援報告会	9月22日（日） 参加者：97名 （内容）現地で活動された多様な支援者によるパネルディスカッション形式の報告会を実施 ・コーディネーター：合同会社 HUGKUMI ・報告者 ・坂本整骨院 坂本 幸嗣氏 ・名張市消防局 鷲坂 友亮氏 ・社会福祉法人 伊賀社会福祉事業協会 盲人ホーム梨ノ木 三枝 幸作氏 ・名張市役所 障害福祉室 大橋 佳奈氏 ・社会福祉法人 名張市社会福祉協議会 地域福祉課 野木 千恵子
令和6年度災害ボランティアセンター研修会	12月22日（日） 参加者：130名 （内容） 能登災害から学ぶ～今後につなげたい地域の受援力～ 実際の能登災害で起きたことを聞き、受援力を高めるためにできることを考えるきっかけづくりとして、災害ボランティア登録者や民生児童委員などを対象に研修会を実施しました。 ・講師 ・社会福祉法人 珠洲市社会福祉協議会 神徳宏紀氏 ・合同会社 HUGKUMI 長井 一浩氏、小島 寛氏

・社協職員研修会の実施

BCP 研修会	令和 7 年 3 月 7 日(金) 職員 8 名 (内容) BCP(事業継続計画)の基礎を学ぶ ・講師 明治国際医療大学付属防災救急救助研究 保険医療学部 教授 諫山 憲司 氏
---------	---

・ICT 活用に向けた取組み

kintone システムの運用 検証	随時情報共有システムやニーズ受付システムを入力及び検証を進めました。
三重県社協 ICT 強化モデル事業の実施	・県社協実施会議への出席(6 月 27 日(木)、9 月 12 日(木)) ・kintone 体験会への出席(10 月 29 日(火)、 令和 7 年 1 月 23 日(木)、3 月 24 日(月)) ・スキルアップ研修会、訓練等での連携

・広域的な取組みの推進

圏域ブロックの連携強化	津・伊賀ブロック会議への出席 (8 月 29 日(木)、令和 7 年 2 月 19 日(水)、3 月 5 日(水))
伊賀市との連携強化	伊賀市災害ボランティアセンター運営委員会への出席 (8 月 28 日(水)、令和 7 年 3 月 21 日(金))

(5) 地域貢献活動の推進

ア.福祉団体等との協働による自立運営支援

1. 共同事務局としての支援

- ・6月に事務に関する覚書を締結し、事務局職員を3名配置しました。
- ・覚書に基づいた団体運営事務補助により、円滑に団体活動を展開しました。

2.各団体への支援概要

・各団体への支援概要

名張市身体障害者互助会	・会計事務補助 ・総会、会計監査、地区役員会、執行部会等の資料作成 ・関係機関(県障連合会、名張市等)イベントへの事務手続き
名張市老人クラブ連合会	・会計事務補助 ・総会、会議、イベント等の資料作成 ・会員や関係団体等と事務局との連絡、調整
名張市遺族連合会	・会計事務補助 ・会議等の資料作成、連絡補助 ・関係団体等との連絡、調整 ・研修会にかかる業務補助、同行

名張保護司会	・会計事務補助 ・役員会、部会の開催支援 ・社会を明るくする運動行事開催支援 ・関係機関との調整等 ・保護観察所からの文書収受、調整等
--------	---

各団体への実務支援状況

	身障互助会	老人クラブ	遺族会	保護司会
総会	1 回	1 回	1 回	1 回
役員会	15 回	26 回	6 回	7 回
各種委員会・部会		18 回		31 回
研修会	3回	2 回	1 回	4回
上記以外の日常対応	50 回	86 回	20 回	30 回
計	69 回	133 回	28 回	73 回

3. 各種大会等の開催支援

・名張市障害者スポーツ大会を11月8日(金)開催しました。本大会は2019年開催後、コロナ禍で中止しており4年ぶりに再開することができました。

実行委員会では事務局として、開催準備だけでなく、大会自体のあり方や開催方法についての検討も併せて行い、結果、午後からの半日開催となりました。競技は玉入れ、パン取り競争、〇×クイズを行い、参加者やボランティアの方々が楽しく参加されていました。

内容	日時
三役会	5月22日(水)
実行委員会	6月26日(金)、8月28日(水)、10月23日(水)、12月2日(月)

・あいふえすたイン名張における開催協力を行いました。

事前説明会 4月18日(木)、9月10日(火)

当日協力 10月3日(木) 武道交流館いきいき 受付案内を担当

イ. 当事者等関係団体との連携・支援

1. 家族介護者の会「楓の会」との協働

・介護サロン「さくら喫茶」を福祉まちづくりセンターから総合福祉センターへ会場地を変更して実施しました。(毎月第3木曜日、ただし8月と1月は除く)

開催日	内容
6月20日(木)	あじさいのリース
7月18日(木)	風鈴の絵付け ※楓の会と3F利用者との合同でのサロン開催

9月19日(木)	夏祭りの折り紙
10月17日(木)	月見クラフト
11月21日(木)	ハギレのリース
12月19日(木)	お正月飾り(しめ飾り)
令和7年2月20日(木)	吊るし雛
3月13日(木)	・講義「フレイル予防」 市包括支援センター 森田保健師 ・笑いヨガ ※楓の会と3F利用者との合同でのサロン開催

・介護者のつどい

令和7年2月13日(木) 場所:ふれあいホール

内容:ポッチャ大会&交流会

・7月と3月には3F老人福祉センターふれあいの利用者も参加した「ものづくりサロン」と「笑いヨガ」を実施し、交流と介護者の会の啓発を進めました。

2. 精神障がい者家族会「なばるの会」の活動支援

・なばるの会 定例会(月1回)への出席

・イベント開催準備補助(書類・備品等)

ウ.社会福祉法人ネットワークによる公益的な取組みの推進

1. 名張市社会福祉法人連絡会との連携・協働

・運営適正化に向けた支援(各会議開催時の参画と開催調整)

内容	開催日
総会	1回(5月14日(火))
役員会	13回(4月18日(木)、5月20日(月)、7月8日(月)、8月1日(木)、 9月5日(木)、10月9日(水)、11月6日(水)、12月10日(火)、 12月17日(火)、令和7年1月9日(木)、2月6日(木)、 2月28日(金)、3月19日(水))
全体会	2回(9月26日(木)、令和7年3月12日(水))
広報部会	2回(4月5日(金)、7月16日(火))
子ども部会	3回(6月17日(月)、9月3日(火)、11月5日(火))
介護事業部会	6回(6月12日(水)、8月28日(水)、9月26日(木)、12月3日(火)、 令和7年1月24日(金)、3月19日(水))

今年度より新たに「介護事業部会」を設置

・各種事業の推進・進捗管理支援

協力医療機関協定締結補助	名張市立病院と連絡会所属高齢者施設との協定(制度改正に伴う協定)
--------------	----------------------------------

福祉の職場体験での協働	ボランティアセンター事業と協働し「福祉の職場体験」を実施しました。(14 施設受入れ、延べ 41 名体験)
福祉の仕事出前講座	ゲストティーチャーの派遣 ・令和7年2月4日(火) 南中学校 看護 おきつも福祉会 看護師 保育 名張育成会 みはた虹のおかこども園 保育士 ・令和7年2月6日(木) 北中学校 介護 名張厚生協会 名張特養 介護士、相談員
ヤングケアラーに関する理解促進活動	・広報誌 YOU への記事掲載 ・パンフレットを作成し、市内公共施設へ配布
外国人交流会	令和7年2月26日(水) 会場:名張産業振興センター・アスパ ～共に生きる 共に働く 共に学びを～テーマに市内で働く 外国人労働者の方に、日本の文化を知っていただき、言語 や生活・習慣の壁を越えた心のふれあいを目的に中央ロー タリーの協力を得て交流会を開催しました。
福祉避難所訓練	令和7年1月23日(木) 場所:グリーントピア名張 南海トラフ地震を想定し、市内で災害が発生したことにより市内の福 祉施設で避難所を開設する訓練を実施 発災から施設の被害状況の確認、指定避難所の開設から要配慮者 の移送、福祉的トリアージを経て受入の流れを時系列に沿って実施し ました。
伊賀市社会福祉法人連絡会 との意見交換会	11月6日(水) 相互の事業報告 意見交換会
職員研修会 (全体)	5月14日(火) 「地域福祉計画から見える名張市の現状と今後の課題」 講師:国際医療福祉大学 白澤政和 教授 9月22日(日) 「令和6年能登半島地震災害支援報告会」 (災害ボランティアセンター主催) 令和7年3月11日(火) カスタマーハラスメントに関する研修会 社会福祉労務士 高原 祥子氏
職員研修会 (部会)	・令和7年1月30日(木) 子ども部会研修会 ・令和7年2月14日(金) 介護事業部会研修会

2. 県域ネットワークによる取組み(みえ福祉の「わ」創造事業)

- ・6月10日(月)緊急時物品等支援事業実施要綱の改正について Zoom 研修参加
- ・基金残高ひっ迫により緊急時物品等支援事業の限度額が見直しされたことを受けて、利用者説明のうえ買い物同行を行い、手続きを行いました。

エ.おもちゃ図書館の運営

1. おもちゃ図書館の運営

・おもちゃ図書館の安全に配慮し、円滑な運営管理をおこないました。

福祉まちづくりセンターから持ち帰ったおもちゃや絵本を整理し、年齢に合わせておもちゃが選べるようにロッカーに収納しました。また子どもの誤飲を防ぐために、細かいおもちゃはご家族の方と一緒に遊んでもらえるように工夫しました。

絵本（飛び出す絵本、紙芝居、大きな絵本）は整頓し、一部はすぐに手に取れるように配置し、残りはロッカーに入れました。またロッカーは転倒防止棒を設置し、来館者の安全にも配慮しました。

結果、今年度はハローワークでの紹介やロコミ、イベントなどにより、おもちゃ図書館の新規利用者が増えました。

こども	307 名
保護者（大人）	248 名

・名張市内の子ども（0 歳～小学校低学年）とそのご家族向けに、おもちゃ図書館の周知を目的としたイベントを ads ホールで開催しました。市内のご家族400名余りの方が来場いただき、1 時間と短い時間でしたが吹奏楽を楽しみ、一緒に踊ったり、楽器を演奏したりと楽しい時間を過ごしていただきました。

アンケート調査から、市内の子育て世代が名張市で子どもを育てるために期待することなど様々なご意見を聞くことができました。

開催日：令和 7 年 2 月 2 日（日） 会場：ads ホール 時間：14:00～

出演：M's Sound Factory

参加者：大人 149 名、子ども 168 名

内容：森の贈り物、口笛吹いて働こう、アンパンマン体操 他

オ.日本赤十字社名張市地区事業の推進

1. 赤十字運動の理念と活動普及

・日本赤十字社名張市地区として以下の活動を行いました。

赤十字講習会講師派遣の調整	4 件
臨時救護要員の派遣調整	3 件
救急箱及び AED の貸出	8 件
活動資金功労表彰	特別社員 5 件、有功章前 1 件、銀色有功章 1 件
罹災者救援	火災全焼 2 件（救急セット 2 セット、毛布 1 枚、タオルケット 1 枚を配布）

・赤十字運動の理念と活動普及に関する理解促進のため、広報啓発を進めました。

ほほえみに記事を掲載

当会ホームページを見直し更新

・「非常時の持ち出し品・備蓄品チェックリスト」を設置しました。

設置場所：総合福祉センターふれあい 1 階パネル、2 階チラシ棚、3 階チラシ棚

2. 災害対応

・義援金の募集（募金箱の設置・窓口受付）を行い、日本赤十字社を通じて被災者の生活再建に寄与しました。

地域を指定しない海外救援金	12 件 790,000 円
ウクライナ人道危機救援金	26 件 964,084 円 (累計 5,877,166 円)
令和 6 年能登半島地震災害義援金	39 件 1,122,061 円 (累計 5,391,714 円)
2024 年台湾東部沖地震救援金	7 件 99,615 円
令和 6 年 7 月 25 日からの大雨災害義援金	4 件 11,347 円

(6) 地域福祉活動財源確保のための各種募金活動の推進

ア. 名張市共同募金委員会事業の推進

1. 適正な会務運営

・名張市共同募金運営委員会を開催し、運動や財源活用に関する話し合いや助成審査等を行いました。

会計監査 5 月 17 日(金)

共同募金委員会 第1回 5 月 29 日(水)、第2回 8 月 20 日(火)、第3回 11 月 25 日(月)、
第4回 令和 7 年 2 月 28 日(金)

2. 三重県共同募金会との連携

・三重県共同募金会による会議へ参加し、共同募金運動に関する動向や情報、課題の共有を図りました。

開催日	内容
4 月 9 日(火)	令和 6 年度一般配分申請オンライン説明会
4 月 25 日(木)	令和 6 年度市町共同募金委員会担当国会議
8 月 9 日(金)	令和 6 年度市町共同募金委員会事務局長及び担当者オンライン会議
9 月 19 日(木)	令和 6 年度市町共同募金委員会事務局長会議(オンライン) 内容:財務省からの指摘に係る募金グッズと領収証の取扱いについて

・4 月の市町共同募金委員会担当国会議において、各市町の共同募金チラシについて情報提供を依頼しました。その情報を元に、名張市共同募金のチラシを見直しました。

財務省の指摘により、募金グッズやガチャマシンについて、「200 円以上の募金につき、1 回ガチャができる」という表現に変更しました。

3. 広報啓発・顕彰の実施

- ・共同募金運動に関するチラシの見直しにより、理解者の拡大を図りました。
- ・共同募金に関する顕彰推薦、審査決定および対象法人等へ案内を行いました

名張市社会福祉大会

名張市共同募金委員会募金関係功労者顕彰 感謝 6 団体・法人

中央共同募金会会長感謝楯 1 団体、1 名

三重県社会福祉大会

三重県共同募金会関係功労者顕彰 奉仕者 1 名、優良地区 9 地区、感謝 6 団体・法人

4. 募金活動の推進

1. 赤い羽根共同募金

- ・従来からの募金方法による活動推進

戸別募金	・ボランティア活動者との資材組み(2日間 9月3日(火)、9月6日(金)) ・15 地域づくり組織への協力依頼
街頭募金	・13 店舗 啓発実施 (9 日間 28 回) ・啓発協力 54 団体 18 名
法人募金	企業に依頼 136 件、協力 101 件
学校募金	市内小中学校、高校、高専に依頼 23 件
職域募金	市役所、教職員、福祉関係施設、保育・幼稚園関係、金融機関等に依頼 44 件、協力 34 件
イベント募金	イベントへブース出店 4回 継続参加：隠街道市、近代高専名張祭、 ふれあいフェスティバル、 新規参加：バリバリフェスタ
個人募金	店舗への募金箱の設置依頼 57 件、協力 57 件
百貨店プロジェクト	9 件 108,400 円
UMOU プロジェクト	新しい募金方法の取組みに係る事業支援制度の助成 200,000 円で広報啓発を企画し、車に貼るマグネットを作成しました。

2. 歳末たすけあい募金運動

チラシの作成、戸別 募金の依頼を行いました。

12月18日(水)名張市仏教会様より歳末たすけあい募金へ寄付をいただきましたので、贈呈式を行いました。

3. 募金活動上の課題への対応

ゆうちょ銀行が利用できないため、百五銀行専用振込用紙の作成、手数料免除の手続きを行いました。

5. 災害発生時の取組み

- ・支援金(ボラサポ災害支援金)の募集受付を実施しました。
ホームページに募集案内を掲載しました。
- ・令和6年能登豪雨災害義援金の募金を受け付けしました。
- ・大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金を受け付けました。

イ. 善意銀行の適正管理

1. 寄附金品の適正管理

- ・名張市運営委員会を開催し、寄付を効果的に配分・活用をおこなった

現金寄附 21 件 610,507 円

第 1 回 名張市善意銀行運営委員会の開催(6 月 11 日(火))

令和 5 年度 名張市善意銀行 実績報告の認定

令和 6 年度 名張市善意銀行 配分支出補正予算(案)

令和 5 年度 地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定

令和 6 年度 地域福祉活動助成事業にかかる審査

社会福祉法人名張市社会福祉協議会 車いす一時貸出事業 貸出要綱

第 2 回 名張市善意銀行運営委員会の開催(12 月 9 日(月))

令和 6 年度 寄附状況と配分(支出)状況

令和 6 年度 名張市善意銀行 補正予算(案)

第 3 回 名張市善意銀行運営委員会の開催(令和 7 年 3 月 18 日(火))

令和 6 年度 名張市善意銀行 寄附状況と配分(支出)状況

令和 7 年度 名張市善意銀行 事業計画(案)

「名張市社会福祉協議会 地域福祉活動助成事業に関する要綱」の一部改正

2. 計画的な運用

① 地域福祉活動助成事業財源としての活用

地域見守り配食事業	3 件(774,100 円)
当事者、家族会活動事業	5 件(100,000 円)
社会福祉法人が実施する公益的な事業	1 件(300,000 円)

② 車いす一時貸出事業の実施

適正管理	・安全に使用できない車いす(定年劣化)を廃棄 27 台 ・車いすを必要数購入 5 台
要綱整備	社会福祉法人名張市社会福祉協議会 車いす一時貸出事業 貸出要綱の制定
貸出実績	114 件

③ 災害被災者に対する見舞金の支給

- ・罹災者救援要綱に基づく見舞金 全焼 2 件 40,000 円
- ・生理の貧困支援 生理用品配布 7 件

ウ. その他の活動資金募集

1. 日本赤十字社活動資金募集

- ・5 月の強化月間に名張市内地区および法人に対して赤十字活動資金募集を行いました。

個人(世帯)	12,862 件	6,845,699 円
法人	84 件	701,000 円

2. 名張保護司会更生保護愛の資金募集

- ・7月の強化月間に各地区へ更生保護愛の資金募集を行いました。
また愛の資金を今年度の更生保護活動資金および社会を明るくする運動で活用しています。
(1,667,017 円)

(7) 地域福祉活動等助成事業の推進

1. 地域福祉活動助成事業

- ・令和6年度地域福祉活動助成金の適正な申請、審査、決定、配分を行いました。

審 査	名張市共同募金運営委員会		5月29日(水)	
	理事会、名張市善意銀行運営委員会		6月11日(火)	
配 分	地域見守り配食事業	8 件	2,067,200 円	共募+善銀
	地域見守り事業	74 件	2,280,000 円	共募
	ボランティア活動事業	34 件	1,125,000 円	共募
	福祉協力校活動事業	20 件	490,000 円	共募
	当事者・家族会活動事業	5 件	100,000 円	善銀
	社会福祉法人が実施する公益的な事業	1 件	300,000 円	善銀
	イベント開催事業	1 件	100,000 円	社協会費
	ひとり暮らし高齢者のつどい事業	8 件	251,000 円	補助金

- ・助成金手続きに関する見直しを検討し、事務簡略化を進めました。
(内容)押印省略、様式変更(清算書・予算書)、福祉協力校助成の区分統合

3. 地域づくり組織活動助成事業

- ・令和6年度地域づくり組織活動助成の適正な申請、配分を行いました。

赤十字活動資金の納入実績に応じた助成	15 件	638,740 円
社協会費の納入実績に応じた助成	15 件	2,682,040 円
共同募金の納入実績に応じた助成	15 件	1,238,110 円

3. 歳末たすけあい運動配分事業

- ・令和6年度歳末たすけあい運動配分金の適正な申請・配分を行いました。

暮らし支援事業	47 件	235,000 円
新生活応援事業	20 件	800,000 円

地域見守り事業	81 件	1,005,000 円
子育て支援事業	27 件	205,000 円
当事者・家族会支援事業	6 件	180,000 円
福祉施設交流事業	16 件	275,000 円

4. 地域福祉活動支援備品貸出事業

- ・サロン、地域、学校等へ備品の貸出を通じて、福祉活動支援を進めました。
- ・オフシーズンに、貸出備品の点検をおこない、補修修繕および整頓をしました。

(8) 総合福祉センターふれあい貸館業務の適正実施及び社協総合窓口としての機能強化

1. 総合福祉センターふれあいの貸館業務

- ・貸館事務および事前貸館調整（打合せ）
- ・ふれあいホール貸室オプション利用に関する設営・片付け補助
- ・保守点検補助（床の汚れ、キズ・椅子・卓球台などの修理）
- ・貸室備品の整備（ラミネートフィルムで加工）
- ・貸館料金の収受と会計業務
- ・駐車券の処理と駐車場の貸出許可

2. 社協窓口としての機能強化

- ・総合窓口（来訪者受付・代表電話対応）として第一義的な対応について職員間で課題や情報を共有し、適切化に努めました。
- ・地域福祉係窓口としては、福祉まちづくりセンター休止に伴うボランティアセンター窓口としての対応をはじめ、各種募金や福祉団体等の利用者や車いす・地域福祉活動備品の貸出対応等多様な機能を窓口職員中心に、丁寧に適正な対応に努めました。
- ・生活支援係（暮らしあんしんセンター）相談者の取次、社協組織構成会員入会手続き等各課・係への円滑な取次に努めました。

Ⅲ.地域福祉課（生活支援係）

1. 多様な生活福祉課題に対応するための基盤整備

1. 専門性に基づく相談支援の実施

- ・権利擁護チームと生活困窮者自立支援事業チームとそれぞれ月 1 回の会議を実施し、困難事例の検討と振り返り等を行い、日常的にチーム内で事例を通じた課題や情報を共有しチーム力の向上を図りました。
- ・専門性向上のための研修会や各種関連制度等の説明会に参加し、幅広い知識と法改正等への対応に努めました。

2. 事業・相談窓口の周知

- ・生活困窮支援に対する地域の多様な協力者（就労・居住関連・食料寄附等）に対して、事業啓発（対象者理解含む）を行いました。
- ・6月29日（土）ほっとまち茶房ききょうスタッフ会議にて事業周知と対象者への関わりに対する協力依頼、令和 3 年から継続的な食料支援に対するお礼を行いました。
- ・7月22日（月）津地方検察庁 社会復帰支援担当の方々と交流
- ・7月30日（火）令和 6 年度高校生就労支援ネットワーク会議にて意見交換（伊賀・名張地域）
- ・10月8日（火）日本年金機構津年金事務所担当の方との意見交換
- ・令和7年3月3日（月）中学校の不登校担当教諭へ事業啓発。卒業式で不登校等の卒業生や保護者に向け福祉機関のパンフレットを入れた封筒やメッセージを配布。その中に、なばり暮らしあんしんセンターのパンフレットも入れてもらい事業啓発を行いました。

3. 関係機関との連携・協力による重層的な支援

名張市	■エリアディレクター会議（支援会議・重層的支援会議）への月 1 回参画 ・複合的課題を抱える困難ケースへの分野を超えた対応検討 ・関係者全体のチーム対応による早期対応や多角的支援推進 ■空家対策推進協議会に委員として参画 ・地域課題である空家の増加と地域生活課題である住まいの問題解決策の検討
企業や社会福祉法人	生活困窮者自立支援事業、無料職業紹介所事業における一般就労や就労体験の協力事業所と連携し、ステップアップ及び就労定着を推進
法テラス	家計改善支援事業における債務相談で連携
コープみえ、企業、団体、個人	名張市八幡のコープみえ伊賀センターが実施する宅配サービスで発生した返品商品や余剰品を生活に困窮される方へ食糧として提供するため生活協同組合「コープみえ」と協定を締結し、食料提供を実施。 また多くの市民の方々からも食料等寄付をいただき、緊急で必要とされる生活困窮者世帯に食料提供。 （株）スクロール（コープみえ）からは就職活動用のスーツやパンプスの提供。 食料等寄付受け入れ 個人 10 名・5 団体・3 企業 累計 55 回

	食料等提供延べ数 コープみえ分 148件 個人・団体・企業分 259 件
三重県社会福祉協議会	・三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会へ毎月参加し、事業の適正実施を確認 ・みえ福祉の「わ」創造事業との連携し、生活困窮世帯への食糧提供等を 73 件実施 (内訳:緊急食糧提供 62 件 緊急時物品等支援 11 件)

2. 認知症や知的障がい・精神障がい等があっても、地域で安心して暮らせるための伴走型支援

ア.福祉サービス利用援助事業

1. 日常生活自立支援事業

(実績)

新規契約件数	6 件	実利用者数	69 件
契約終了件数	10 件		
(内訳)	死亡	4 件	
	本人希望	1 件	
	施設入所	3 件	
	市外転居	2 件	

・新規利用に関する相談は27件あり、関係機関と連携しご本人やご家族の生活状況から課題解決できるよう相談をお聞きし、事業内容の説明を行いました。その内6件が上記記載の通り契約締結に至りました。また、本会が実施する成年後見事業や市内関係機関と連携し切れ目のない権利擁護支援に取り組みました。

(関係機関との連携)

・関係機関等との日頃からの連携、協議の場への参画を通じ困難事例への対応協議を行いました。(ケース会議への参加 24 回)
・9月19日(木)第三圏域介護支援専門員研修会で当事業内容について啓発を行いました。

2. 相談支援体制の強化

(生活支援員体制及び活動強化)

生活支援員数	25 名(内、3 名を新規採用)
支援数	契約者数 69 件中61 件(88%)
環境整備	活動中の生活支援員に対して面談を行い、活動をしやすい環境調整に努めました。

(生活支援員養成講座開催に伴う広報活動)

・生活支援員養成講座 10 月開催に向け、長年同じスタイルであったチラシから新たにスタイリッシュなものに変更しました。幅広い年齢層の目に留まりやすく することを目的としました。

・広報活動として、例年の方法以外に名張市公式LINE掲載、名張高校吹奏楽部定期演奏会パンフレットへの折り込みの協力を得ました

・生活支援員養成講座を10月16日(水)、23日(水)の2日間しました。

参加者14名に対し、11名の方が生活支援員に登録、うち2名の方を雇用しました。

(生活支援員へのフォローアップ体制)

・6月 全生活支援員へ個別面談を行い、不安や疑問の解消に努めました。

・生活支援員定例会を2回開催し、知識向上と生活支援員同士の意見交換の場を持ちました。

① 12月12日(木) 三重県社協主催の研修会に参加。三重大学医学部附属病院脳神経内科教授より「認知症のきざしと症状、その対応について」

② 令和7年3月12日(水) 当センター主催勉強会として名張市職員よりマイナンバーやマイナ保健証に関する内容と手続き方法等について

(専門員の相談支援体制強化)

・新任専門員研修会や県内専門員意見交換会に出席し、支援基盤強化と視野を広げることに努めました。

・インターネットによる詐欺被害が増加していることから、支援力強化を目的に消費生活相談に関する勉強会にも参加しました。

(適正な運営)

以下によって、定期的な点検と支援内容の確認を行いました。

・毎月の契約締結審査会への書類提出と出席

・預かり物点検(法人内): 11月11日(月)

・三重県社協による現地調査: 11月28日(木)

イ. 成年後見事業

1. 法人後見事業の運営

(法人後見の受任)

受任者数:6名	内訳:後見:4名・保佐:2名	延支援回数:1,346回
---------	----------------	--------------

(適正な運営)

法人後見受任委員会の開催	■第45回委員会の実施:7月5日(金) ・2~5月の経過と令和7年2月までの支援計画について報告 ■第47回委員会の実施:令和7年3月4日(金) ・6~1月の経過と令和7年7月までの支援計画について報告 ・両日出席の7名の委員(弁護士、司法書士、大学教授、税理士、民生委員児童委員協議会連合会 会長、地域包括支援センター長、当会理事)より、適正な運営への確認と更なる発展への助言を受けました ■第46回委員会の実施(書面決議) ・新規受任に関する就任審査を行い承認となりました。 全委員へ本人状況や今後の生活の見通しと課題、想定される後見事務について説明し、助言を受けました。
--------------	--

法人後見受任者預かり物内部点検の実施	・4月18日(木) 法人後見受任者の預かり物内部点検を行い、6 ケース 117 点の預かり物が適切に管理されていることの確認をしました。(点検者は総務課長と地域福祉課長)
--------------------	---

(相談支援体制の強化)

・成年後見にかかる研修や連絡会に 12 回(3 名)参加し知識向上と最新動向の取得に努めました(法定後見に関する研修だけではなく、身寄り問題に関する研修受講も含む)

(ネットワーク構築)

・11月29日(金) 奈良弁護士会主催の福祉職等関係者との懇親会参加

・令和7年1月31日(金) 津家裁伊賀支部との意見交換会

・令和7年2月3日(月) 3 府県合同 成年後見制度利用促進会議

(権利擁護に関する総合相談窓口としての機能強化)

・毎月、伊賀市社会福祉協議会(伊賀地域福祉後見サポートセンター)、名張市地域包括支援センターとケースを通じた意見交換を行い、ご本人にとってより適切な権利擁護支援について協議を行いました

・当会においても成年後見等に関する問い合わせ 2 件、新規相談 13 件、それに関する相談として 124 回の継続的な関わりを持ちました。また、身寄り問題に関する問い合わせが 4 件あり、情報提供を行いました。

(法人後見体制強化)

・当会受任の被後見人を福祉後見人(市民後見人)へリレーすることについて、毎月開催している伊賀地域福祉後見サポートセンター、地域包括支援センターとの会議で協議しました。結果としては、リレーに至りませんでした。

・令和7年1月28日(火)福祉後見人養成研修(伊賀名張対象 伊賀地域福祉後見サポートセンター)主催で、法人後

見支援員の仕事の魅力について説明を行いました。

2. 名張市における法人後見受任体制の拡充・強化

法人後見支援員体制強化	・法人後見支援員数:5名 ・経験ある生活支援員を法人後見支援員として活用(1名)し、後見実務強化 ・毎月の収支報告、家庭裁判所への事務報告、報酬付与の申立等を支援員実務として実施し、受任体制の効率的運用に貢献
-------------	--

3. 生活困窮者支援を通じた社会的孤立防止

ア. 生活困窮者自立支援事業

1. 自立相談支援事業

(相談支援体制の整備と包括的な支援の提供)

・主任相談支援員を中心に初回相談受付を行い一次的な支援方針を立て、その後は相談支援員、就労支援員が一体となり利用者に関わりを深め、支援計画策定し課題解決支援や伴走型支援を

継続的に行いました。

新規申込	127 件
延支援回数	3,349 回（関係機関との連携含む）
就労開始件数	46 件（内 2 件は開拓企業先へ正社員として就労）

・支援調整会議を毎月開催し、支援内容の検討、支援計画の可否を判断するとともに地域における課題の共有と改善、資源の開拓について協議しました。

協議件数	145 件 （内訳：新規プラン 67 件、モニタリング 10 件、再プラン 31 件、 終結 37 件）
------	--

・離職等により住居を失った又はその恐れの高い相談者に対し、就労支援を行うとともに住居確保給付金に関する相談や申請受付を行い、自立に向けた支援を行いました。

新規相談件数 38 件 継続相談件数 301 件、申請件数 31 件、承認件数 31 件

・無料職業紹介所事業の企業開拓として 9 件の企業にアプローチを行いました。

・三重県居住支援連絡会への参画

住まいの確保が難しい方（住宅確保要配慮者）に対し必要な支援を行うことを目的に、三重県居住支援連絡会、名張市住宅室、三重県宅建協会 伊賀支部とともに居住支援団体として生活相談会を 11 月 30 日（土）に開催し、6 世帯の相談対応を行いました。

（相談支援体制の強化）

相談援助職として必要となる価値・知識・技術等の向上のため、研修会に参加し相談員の資質向上を図りました。

【制度理解等】

・生活困窮者自立支援制度 人材養成研修（相談支援員）

・生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修

・生活困窮者自立支援 全国研究交流大会

・生活困窮者自立支援制度にかかる研修

・生活困窮者自立支援統計システム研修会 業務支援ツールの基本理解

・支援員のための育ちのガイドブック

～専門職としてのキャリアづくりにむけて～

・職業紹介責任者講習会

【居住支援関連】

・消費生活相談員等勉強会

（「賃貸に関するよくある相談とアドバイス」「最近の県内被害状況と警察本部における相談対応等について」）

- ・居住支援強化等のための生活困窮者自立支援制度等の見直しに関する説明会
- ・改正住宅セーフティネット法等に関する全国説明会
～住宅と福祉のより一層の連携に向けて～
- ・賃貸住宅の賃貸借契約に係る相談対応研修会
- ・居住支援フォーラム

【対象者理解】

- ・若年層が抱える課題とその支援
- ・精神保健福祉基礎研修
- ・精神保健福祉専門研修 メリデン版訪問家族支援復命研修

（効果）

8 件の企業等を訪問し協力依頼を行いました。開拓企業他一般求人も含め 46 件（内 2 件は開拓企業へ正社員として就職）就労を開始することができました。

2. 就労準備支援事業

・就労に必要な実践的な知識・技能等が欠けているだけではなく、複合的な課題があり、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下しているなどの理由により直ちに就労することが困難な方等を対象として一般就労に従事する準備としての就労準備支援員による支援を行いました。

利用者数	10 名
市内協力事業所数	4 事業所
就労体験数	160 回
支援調整会議	プラン 10 件 モニタリング 25 件
サポート内容	・就労体験 ・就労体験以外にも就職活動に関する支援として履歴書や職務経歴書の書き方、面接の心得、業務遂行上の問題改善のサポート
一般就労に向けた就職活動	10 名の利用者の内、9 名が就労に向けて求職活動を行い、8 名が採用されました。 (8 名の内、1 名は障害サービス活用、1 名は長期休職からの復職)

（相談支援体制の強化）

相談援助職として必要となる価値・知識・技術等の向上のため、研修会に参加し相談員の資質向上を図りました。

- ・三重県就労研修会
- ・就労準備支援事業集合研修会
- ・伊賀圏域障がい福祉連絡協議会就労部会雇用啓発研修

(効果)

10名の利用者の内、9名が就労に向けて求職活動を行い、8名が採用されました。

(8名の内、1名は障害サービス活用、1名は長期休職からの復職)

3.家計改善支援事業

・公共料金や家賃の支払いが計画的に行えない等、家計に関する生活課題を抱えている生活困窮者に対して、家計支援の視点から自立に向けての支援を実施しました。生活困窮者本人が家計の現状を理解し、改善方法を考え、将来にわたって家計管理ができるよう、支援を実施しました。

プラン件数	37件
延支援回数	327回 (内訳:家計管理支援 279回、債務整理支援 28回、滞納解消支援 20回)

・家計改善支援利用者のうち1名を日常生活自立支援事業の利用契約へつなぎました。

・生活福祉資金貸付事業 特例貸付 借受人 2名が家計改善支援に繋がりました。

(相談支援体制の強化)

・相談援助職として必要となる価値・知識・技術等の向上のため、研修会に参加し相談員の資質向上を図りました。

・消費生活相談員等勉強会

(個人情報情報・個人情報情報機関の概要および CRIN/FINE 交流情報について)

・多重債務相談研修

(効果) ※代表的なものとして

・債務整理が必要な8050世帯に法テラス同行支援などを行いました。自立相談支援の就労支援と合わせて行うことで、開拓企業に就労でき就労定着、債務も解消し自立し終結。

(支援期間1年7か月)

・支援開始時はライフライン、税金の滞納、債務の返済滞りにより自転車操業であった世帯に伴走支援を行い、滞納解消、債務も順調に減少中となり終結(支援期間6年2か月)

・家計管理をしたことがなく、債務もあり赤字体質であった単身世帯。継続支援により赤字を脱却し、貯蓄計画まで進んでいます。(支援期間1年3か月)

・債務整理が必要な世帯。法テラス同行支援などを行いました。債務を圧縮し返済計画と一緒に考え、現在計画通り返済中。3年後に退職金が入った際に残債を一括して返済して終了の予定。

(支援期間6か月)

・家計改善支援利用者のうち1名を日常生活自立支援事業の利用契約へつなぎました。

・生活福祉資金貸付事業 特例貸付 借受人 2名が家計改善支援に繋がりました。

4.被保護者就労支援事業

(稼働能力判定会議の開催)

・自立相談支援事業における支援調整会議と一体的に運営することで、情報の共有ができ両事業で連携した支援が可能となりました。

・新規ケース 3 件、モニタリング 22 件の協議

(2 事業の一体的実施による効果)

・被保護者就労準備支援事業と一体的に支援を行うことにより、2 名が一般就労にチャレンジし、2 名が採用となりました。

5.被保護者就労準備支援事業

・生活保護受給者の中で稼働能力の見立てを行い、就労意欲が乏しい、課題が多い、就労意欲の喚起を必要としている等、即時就労が難しい方等への一般就労に従事する準備としての支援を行いました。

利用者数	6 名
市内協力事業所数	3 事業所
就労体験数	141 回

イ. 生活福祉資金等貸付事業

1. 地域福祉金庫貸付事業

・生活困窮者等に対して、3 万円を上限とした緊急的な貸付支援を行い、社会生活が送れるように自立相談・償還指導を行いました。また、生活保護受給者に対しては、効果的な貸付けを行うため名張市社会福祉事務所との連携を図りました。

延相談件数	86 件
貸付件数	30 件
貸付金額	479,000 円

・過年度分含む未償還額:522,000 円(25 件)

2. 生活福祉資金貸付事業

・障害者世帯・高齢者世帯・低所得世帯に対して、低利または無利子での資金の貸付と必要な援助指導を行う事により経済的自立や生活意欲の助長促進を図りました。近年、複合的な生活課題を抱え、相談される方が多く、生活困窮者自立支援事業と連携し自立に向けた支援にもつながりました。

延相談件数	335 件
貸付件数	26 件
貸付金額	13,526,000 円 (内、18 件 10,698,000 円は教育支援資金貸付を行い、低所得世帯に対して進学や就学の継続を支援しました)

(啓発)

・10 月 23 日(水)まちの保健室への勉強会(教育支援資金について/民生委員の役割について)

(特例貸付償還猶予申請)

・新型コロナ特例貸付の緊急小口資金・総合支援資金の新規申請は令和 5 年 9 月 30 日を以て貸付申請の受付を終了しました。令和 5 年 1 月より特例貸付に関する償還が開始されたため償還免除申請や、償還猶予申請に関する相談支援を行いました。また、滞納や未応答となっている借受人に対し、償還免除・猶予や月額変更の申請漏れを無くすことを目的とし、アプローチを行いました。

償還免除	相談件数 35 件、申請件数 32 件、承認件数 32 件
償還猶予及び 月額変更申請	相談件数 37 件、申請件数 15 件、承認件数 14 件
フォローアップ(訪問)	滞納・未応答借受人 訪問件数 25 件 うち申請件数(償還免除、月額変更申請) 5 件

IV.介護支援課

介護支援課は、介護保険事業として居宅介護支援事業と通所介護事業（老人デイサービス事業）と、名張市老人福祉センター「ふれあい」事業として指定管理事業と一般介護予防事業を実施しました。事業推進に当たっては、従来から取り組んでいる「自立支援・重度化防止ケア」を柱に高品質なサービス提供・中重度の方へのサービス提供による「選ばれる事業所」づくりに努め、結果として利用者確保及び健全経営について一定の成果となっています。

また、終息しない感染症、水害危険度の高い地域特性、今後想定される南海トラフ地震等を踏まえたBCPの策定や訓練を実施するなど「災害に強い事業所づくり」にも努めました。

1. 介護保険事業

(1) 老人デイサービス事業

ふれあいデイサービスの特徴である、中重度（要介護3以上）及び医療的ケアの必要な方の積極的な受入（医療的ケア：胃瘻、在宅酸素管理、インシュリン、バルーン管理、ストマ管理、吸痰処置、褥瘡処置等）や機能訓練指導員による個別機能訓練の実施、自立支援に向けたレクリエーション・交流活動の実施等の「中重度ケアと自立支援介護」の両立に努めました。

それらにより、令和2年度・3年度・4年度と新型コロナによる影響で利用者減が続き、経営的にも苦しい状況が続きましたが、その中でも地道に専門サービスの提供基盤を整備し、居宅介護支援事業所等へのアプローチを行ったことで、1日平均利用者数及び実利用者数についてもコロナ前に回復することができました。前期は前年同様の利用者数を推移していましたが後期において施設への入所や他界された方が多く前年度より利用者数は減少しました。

今後も引き続き「中重度ケアと自立支援介護」による高品質なサービス提供を維持し経営の安定化に努めます。

① 年間実績概要：介護給付（要介護1～5）＋総合事業（要支援1.2）

		令和6年度	令和5年度	比較増減
開設日		305日	308日	▲3日
介護給付 (要介護1～5)	実利用者数(年)	735人	753人	▲18人
	実利用者数(月平均)	61.2人	62.8人	▲1.6人
	延利用者数(年)	6,107人	6,372人	▲265人
	延利用者数(月平均)	509人	531人	▲22人
	延利用者数(日平均)	20.0人	20.7人	▲0.7人
総合事業 (要支援1.2)	実利用者数(年)	85人	99人	▲14人
	実利用者数(月平均)	7.1人	8.3人	▲1.2人
	延利用者数(年)	514人	649人	▲135人
	延利用者数(月平均)	42.8人	54.1人	▲11.3人

	延利用者数(日平均)	1.7人	2.1人	▲0.4人
総計	実利用者数(年)	820人	852人	▲32人
	実利用者数(月平均)	68.3人	71.0人	▲2.7人
	延利用者数(年)	6,621人	7,021人	▲400人
	延利用者数(月平均)	551.8人	585.1人	▲33.3人
	延利用者数(日平均)	21.7人	22.8人	▲1.1人
平均介護度(介護給付)		2.86	2.94	▲0.08
要介護3以上割合		57.6%	62.3%	▲4.7%
個別機能訓練Ⅰ加算		4,611人	4,768人	▲157人
(延利用者における割合)		75.5%	74.8%	▲12.3%
個別機能訓練Ⅱ加算		572人	614人	▲42人
(延利用者における割合)		9.4%	9.6%	▲0.2%
科学的介護推進加算:介護(全実)		6,107人	6,372人	▲269人
科学的介護推進加算:総合		514人	649人	▲135人
ADL維持等加算(全実)		6,107人	6,372人	▲269人

②自立支援に向けたレクリエーション・交流活動の実施

	内容	
レクリエーションプログラムの工夫	主体的プログラムの実施	木工作業、野菜作り、調理レク
	クラブ活動の推進	・リズム体操クラブ ・ゲームクラブ ・脳トレクラブ ・製作クラブ
社会活動・参加プログラムの工夫	昭和保育園との連携	・保育園で活用する飾りつけをデイの利用者が作成 ・保育園からお礼の手紙等をデイ内で掲示
交流事業の工夫	昭和保育園との交流事業の実施	・敬老会 ・クリスマス会
	各種ボランティアの受入	歌謡・民謡・合唱、フラダンス、盆踊り、手話、楽器演奏(ウクレレ、サックス、三味線、太鼓、ギター)、詩吟、マジック

③業務の標準化に向けた各種会議等の実施

	内容	
運営管理	管理者主任・リーダー会議	1回/月(実績:12回)
	サービス向上検討委員会	1回/3カ月(+臨時開催)
	感染対策委員会	向上検討委員会と同時開催

サービス管理	虐待防止委員会	向上検討委員会と同時開催
	身体拘束防止委員会	向上検討委員会と同時開催
	看護師・機能訓練会議	2回/月(実績:24回)
	介護員会議	2回/月(実績:27回)
	調理員会議	1回/3か月(実績:4回)
	衛生材料管理会議	随時(実績:1回)
	事例検討会	1回/月(2班に分けて実施):実績11回

④専門性の向上に向けた取り組み

各種研修会への参加	件数	各種研修会への参加	件数
感染対策関係(コロナ、インフル、食中毒等)	4	介護保険制度関係	5
自立支援関係、介護技術	7	認知症関係	2
職員育成	7	虐待、成年後見、身体拘束関係	2
災害・リスクマネジメント関係	4	リハビリ関係	4
BCP 関係	3	労務、ハラスメント関係	2
運営マネジメント、キャリアパス関係	3	運転技術	1
※オンライン研修の活用により登録職員含めた多様な研修機会の確保に努めました。			
事例検討の実施	事例検討数:11回		
リスクマネジメント	・介護事故件数(1件):転倒事故 ・事故以外のヒヤリハット ・要因分析と再発防止策の検討と実践		

(2) 居宅介護支援事業

- ・ふれあい居宅介護支援事業所は、特定事業所加算を算定する事業所であり配置職員全員が主任介護支援専門員資格を有していることから、中重度者(要介護3以上)や医療的ケアが必要な方、地域包括支援センターから要請される困難ケース等への対応に努めました。
 - ・病院、医療系施設からのターミナルケア案件(類するもの含む)を積極的に受入れることで、関連機関からの照会が増加し、新規ケースとなる傾向となっています。
 - ・中重度率40%以上等で取得できる特定事業所加算Ⅰの要件が満たせず、年間を通じて特定事業所加算Ⅱの算定となっており、月平均の目標値を上方修正しています。しかし予定していた要員計画が実施出来ず職員の稼働率が不安定となり前年度より利用者減となりました。
- 今後も特定事業所として地域貢献、資質向上と求められる役割や課題に対し、職員一丸となって取り組み、地域に必要とされる事業所の実現に向け取り組んでいきます。

① 年間実績：介護給付（要介護 1～5）＋総合事業（要支援 1,2）

		令和6年度	令和5年度	比較増減
要介護 (要介護 1～5)	延利用者数(年)	1,970人	2,031人	▲61人
	利用者数(月平均)	164.2人	172.7人	▲8.5人
	ケアマネー人当たり	32.8人	34.5人	▲1.7人
	平均介護度	2.38	2.31	0.07
	中重度率(介護のみ)	36.0%	36.7%	▲0.7%
要支援	延利用者数(年)	162人	153人	9人
	利用者数(月平均)	13.5人	12.7人	0.8人
	ケアマネー人当たり	2.7人	2.5人	0.2人
総計	延利用者数(年)	2,132人	2,226人	▲94人
	利用者数(月平均)	177.7人	185.4人	▲7.7人
	ケアマネー人当たり	35.5人	37.1人	▲1.6人

※配置ケアマネジャー数:5名 ※主任ケアマネジャー配置率:100%

②休日・時間外対応状況

	令和6年度	令和5年度	比較増減
通常(8:30～17:30)	136件	102件	34件
早朝(6:00～8:30)	21件	51件	▲30件
夜間(17:30～22:00)	86件	68件	18件
深夜(22:00～6:00)	4件	7件	▲3件
計	247件	228件	19件

③申請書類等提出代行業務

	令和6年度	令和5年度	比較増減
認定申請書、ケアプラン作成依頼届、紙おむつ給付利用新選書等	394件	358件	36件

④関係機関との連携等

	内容
法人内事業との連携	・名張市老人福祉センター開催の介護教室への協力 ・地域福祉課地域福祉係(生活困窮・日常生活自立支援事業)と連携した他問題世帯等への支援
地域包括支援センターとの連携	・地域ケア会議への参画 ・地域包括支援センターより紹介された困難ケースへの積極的対応
その他	・三重県介護支援専門員資質向上事業への協力

⑤専門性の向上に向けた取り組み

	内容
各種研修会への参加	【主な研修内容】 ・多職種連携 ・地域ケア会議 ・感染症対策 ・虐待関係 ・自然災害、防災対策、BCP ・ケアマネジメント関係
事例検討の実施	定例事業所会議での既存利用者の事例検討：22回 ・他居宅介護支援事業所との事例検討会の実施：1回
主任介護支援専門員	・主任介護支援専門員更新研修の受講：1名

2. 名張市老人福祉センター「ふれあい」指定管理事業

老人福祉センター「ふれあい」において、基本的感染対策を継続し「生きがい活動支援通所事業」及び「介護予防通所事業」を実施し、市内在住の高齢者の交流や健康づくり、介護予防の推進に努めました。令和7年度からの老人福祉センター「ふれあい」のあり方の変更の方針に伴い、1年間の指定管理の延長があり、継続して管理運営を行いました。前期には利用者アンケートを行い、利用者の声を聴く機会を設けました。後期においては次年度に実施予定の、高齢者の生きがい・健康づくりを目的とした事業の検討及び準備を行いました。

①老人福祉センター「ふれあい」管理運営事業

利用状況

	令和6年度	令和5年度	比較増減
開館日数	301日	297日	4日
年間延べ利用者数	8,597人	8,181人	416人
(月平均)	716人	682人	34人
浴室利用者数	0人	601人	▲601人
福祉バス利用者数	4,997人	4,837人	160人

※8月31日(土)台風の接近予想のため休館

※3月4日(火)、3月7日(金)名張市医療福祉総務室より「老人福祉センターの見直し」について説明会が開催され両日合わせ約100名の参加をいただきました。

②生きがい活動支援通所事業

ア. 事業実績

基本事業	内容・実績
見守り・安全管理	利用者の平均年齢は高くなっており、足腰に不安のある方、物忘れのある方など、見守りが必要な利用者も増加しており、随時必要に応じた声かけ・相談を行っています。 AED を配置しており、日々確認を行っています。

鑑賞機会の開催	利用者の楽しみを増やし、気軽に参加できるように実施しました。		
	映画会	歌、演劇の上映	4～1月に各1回(月～土) 延べ120名
	歌おう会	サックスと歌	実施日数:1日 延べ27名
	芸能発表会	サックス	実施日数:1日 延べ36名
		フラダンス	実施日数:1日 延べ36名
カラオケ大会	歌謡ショー	実施日数:2日 延べ172名	
ふれあいカード抽選会	10回利用後のふれあいカードを応募券に当選者には1日利用無料券で利用でき、利用促進を図るサービス事業として実施しました。		毎月、1回 延べ373名
各種講座の開催	身近な生活での困りごとの啓発や転ばぬ先の杖として、また、健康に役立つ講座を開催しました。		
	人権啓発	実施日数:1日 延べ20名	
	介護教室	実施日数:2日 延べ41名	
	笑いヨガ(地域福祉係と協働)	実施日数:1日 延べ11名	
創作活動	創作による楽しみに、気軽に参加できるようにしました。		
	お湯のみ盆栽	実施日数:1日 延べ9名	
	ものづくり教室	実施日数:4日 延べ28名 ※1回地域福祉課と協働実施	
各種発表会の開催	利用者の練習成果の発表や交流の機会を提供し、楽しみを増やすことで生きがいにつながるよう支援するため開催しました。		
	イベント名	日時	参加者
	ビリヤード大会	9月7日(土)	11名
	七夕カラオケ大会	7月13日(土)	44名
	新春カラオケ大会	令和7年1月11日(土)	50名
	曜日別カラオケ大会	9月16日(月) ～9月20日(金)	71名
		令和7年3月24日(月) ～3月28日(金)	86名
	芸能発表会	12月14日(土)	7組

自主サークル活動及び趣味活動	<table><tr><th>サークル名</th><th>回数</th><th>延参加者数</th></tr><tr><td>カラオケ教室</td><td>24 回</td><td>181 名</td></tr><tr><td>いきいき書道クラブ(漢字・かな)</td><td>12 回</td><td>126 名</td></tr><tr><td>レクレーションサークル</td><td>12 回</td><td>179 名</td></tr><tr><td>英語サークル</td><td>12 回</td><td>98 名</td></tr><tr><td>計</td><td>60 回</td><td>584 名</td></tr></table>			サークル名	回数	延参加者数	カラオケ教室	24 回	181 名	いきいき書道クラブ(漢字・かな)	12 回	126 名	レクレーションサークル	12 回	179 名	英語サークル	12 回	98 名	計	60 回	584 名
	サークル名	回数	延参加者数																		
	カラオケ教室	24 回	181 名																		
	いきいき書道クラブ(漢字・かな)	12 回	126 名																		
	レクレーションサークル	12 回	179 名																		
	英語サークル	12 回	98 名																		
	計	60 回	584 名																		
	<table><tr><th>趣味活動</th><th>延参加者数</th></tr><tr><td>ビリヤード</td><td>1,592 名</td></tr><tr><td>マージャン</td><td>1,100 名</td></tr><tr><td>囲碁・将棋</td><td>191 名</td></tr><tr><td>計</td><td>2,883 名</td></tr></table>			趣味活動	延参加者数	ビリヤード	1,592 名	マージャン	1,100 名	囲碁・将棋	191 名	計	2,883 名								
	趣味活動	延参加者数																			
	ビリヤード	1,592 名																			
マージャン	1,100 名																				
囲碁・将棋	191 名																				
計	2,883 名																				
基本的感染症対策を行なった利用																					
基本的感染対策を行なった実施しました。																					
●入館時																					
顔認証体温計・手指消毒の設置を継続しました。また、入館受付票で体調の確認を継続しました。																					
●施設管理・利用																					
換気、温湿度管理を行ない、利用後のアルコール消毒を継続、教養娯楽室のテーブルでの飲食後の消毒は利用者の協力を得て行いました。職員は、咳エチケットからマスクを着用しました。																					
湯茶の提供は、紙コップでの提供としています。																					
カラオケルームの利用は空気清浄付き加湿器を設置、時間、人数制限を継続して行い、使用後マイクの消毒は利用者の協力を得て行いました。																					

イ. 地域活動との連携等

内 容
地域福祉係との協働で「ものづくり教室」実施
地域福祉係との協働で「笑いヨガ」の実施
名張市社協「ふれあいフェスティバル」に施設利用管理に協力

ウ. 利用促進

利用案内チラシの配布	毎月介護保険証新規交付時に同封 地域福祉係協力による民生児童委員等への配布
館内ポスター掲示	老人福祉センター案内ポスターを作成・掲示
社協ホームページ・広報	イベント、教室等の周知、予定案内の掲載、

3. 一般介護予防事業

①介護予防に関する知識の普及啓発

メニュー	内容
啓発チラシの配布	介護予防健康づくりに関する啓発チラシを配布・ポスター掲示
脳トレプリントの配布	認知機能維持を目的に、数独や漢字ドリル、間違探しにチャレンジできるよう毎週更新したプリントを配布しました。

②利用者の状態把握

内 容	内 容
入館時の健康チェック	入館時の体調チェックを行いました。
健康相談	希望者に随時健康相談に応じました。
介護予防手帳の配布	一般マシン・トレーニング教室初回参加者、身体測定の日 にフレイル予防に関する取り組みや身体状況が記録でき、 フレイル意識の向上と参加者の状態把握に努めました。
体力測定の実施	一般マシン・トレーニング教室の初日に体力測定を行い、身 体機能の理解とフレイル予防意識の向上に努めました。
身体測定の日	フレイル予防の意識向上を目指して身体状況をチェックす る機会としました。

③介護予防に係る運動等、介護予防に関する教室の通年実施

メニュー	内容	備考
一般マシン・トレーニング教室 (基本) (追加)	(基本)1クール7回のコースで、運動器機能の 向上のため、マシン・トレーニング教室を実施(月～金曜 日に実施)しました。 (追加)マシン教室経験者を対象に、1日追加し てマシン・トレーニングを実施できるようにしました。	実施日数:219日 延べ 3,195名 実施日数:78日 延べ 128名
体力測定	(基本)参加初日に体力測定6種を実施しまし た。	延べ 599名
スクエアステップ教 室	高齢者の介護予防、認知機能向上、体力づくりに 効果がある「スクエアステップ」をリーダー(ボラ ンティア)の協力を得て実施しました。	実施日数:35日 延べ 321名
体操の時間	身体機能の低下を予防するため、気軽に利用時 に体を動かす機会を提供しました。	実施日数:231日 延べ 1,720名
身体測定の日	利用者自身が自身の健康に目を向ける機会とし て握力、体重、身長を測定しました。	実施日数:1日 延べ 10名

④担い手としての参加促進

内 容		回数	延べ協力者数
フレイル予防サポーター (介護予防事業)	スクエアステップ教室	35 回	73 名
	マシン教室(体力測定)	14 回	14 名

⑤地域の多様な主体との連携及び関係団体との連携による専門職の関与

メニュー	内容
デイサービス介護員と連携	デイサービス介護員と協力してマシン・トレーニング教室の実施:67 日
生活支援コーディネーター 及びボランティアコーディネーターと連携	地域福祉係と協力したフレイル予防サポーターの活動支援 スクエアステップ教室:活動日数:35 日:延べ 73 名 マシン教室体力測定補助:活動日数:14 日:延べ 14 名

4. 健全経営体制の基盤整備・業務効率の向上

(1) 事業管理について

項目	内容
運営管理会議	課長・係長・管理者による毎月定例開催(12回/年) 【基本的検討項目】 ・業務実績と運営課題の確認 ・職員管理上の課題の確認 ・サービス提供上の課題の確認 ・事業計画、予算について ・法人に対する調整事項について 【令和5年度検討項目】 ・新運営管理体制について ・新型コロナウイルス感染症対応について ・利用者確保について ・次期制度改正について ・令和6年度運営体制について
サービス向上検討委員会	課長・係長・管理者・主任により毎月定例開催(4回/年) (特にサービス提供・質の担保について調整) ・サービスの標準化について ・利用者確保について ・BCP 策定について ・令和 6 年度報酬改定について
感染対策委員会	課長・係長・管理者・主任により毎月定例開催(4回/年) ・感染状況の把握と想定課題の検討 ・職員の心身状況の確認 ・各種関連通知の確認 ・職員行動指針、ガイドラインの確認と運用徹底 等
虐待防止委員会	課長・係長・管理者・主任により毎月定例開催(4回/年) ・虐待防止指針の策定 ・運営規程への反映 ・課内研修の実施 ・各事業所での事例取り組みの共有・検討

災害に強い事業所づくり	・サービス向上検討委員会において、事業所ごとのBCP策定状況や内容について意見交換・更新を図りました。 ・各事業所においてBCP策定を進め、居宅介護支援事業所・通所介護事業所については、事業所単体としてのBCP策定を終了しました ・今年度は自然災害を想定したBCP策定を進め、各事業において机上訓練を実施しBCPに反映しました。
生産性向上に向けた取り組み	【LINE活用による情報共有及び緊急対応の実施】 介護支援課課長・管理者グループによる時間外・休日での即応体制整備と運用や介護支援課感染対策委員会グループによる、感染案件発生時の情報・課題・方策の共有をリアルタイムの意思決定と対応を図りました。 【リモートアクセスツールの活用】 リモートアクセスツールの活用により、在宅待機時でも介護保険システムや社内ネットワークに自宅よりアクセスし業務の効率化を図りました。 その他、居宅介護支援事業所については、全ケアマネジャーに携帯端末を提供し、相談や関係事業所との連絡調整を効率よく対応できる体制を整備しました。

※その他、各事業所において事業運営・サービス標準化等のために会議や事例検討会を随時開催

(2) 人材育成

項目	内容
各種研修会・事例検討会等	・事業ごとに必要な専門性、制度理解、資格更新等の研修会に参加 ・研修後は事業所ごとの会議等で復命を行い、参加できなかった職員等についても可能な限り研修内容の共有を図りました。 ※事業ごとの研修内容は各事業実績欄に記載 ※オンライン研修の活用により登録職員含めた多様な研修機会の確保に努めました。
目標管理制度・人事考課制度の適正運用	目標管理シート作成について重視し、課・事業の達成目標・運営課題を共有し、職員各々の職務や職責における行動とキャリアアップとも整合性をもたせることで、適正評価とモチベーション維持に努めました。
次世代体制に向けた要員計画の検討	介護支援課は職員離職率が低く、経験年数の高い職員集団ではありますが、反面職員の年齢層が高く、定年退職等により正規職員の構成率が低くなっています。今後の事業継続と適正運営体制に向けた係長・主任級の配置と30代を中心とした新規採用（内部登用含む）について、各事業で要員計画の検討をすすめました。

V.昭和保育園

(1) 事業の概要

1. 保育目標

昭和保育園の めざす子ども像	心身ともに健康な子ども ～よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子ども～ ○体力のある子ども ○意欲のある子ども ○友だちと感じあえる子ども
-------------------	---

2. 保育実績

保育人数	0歳児 12名、1歳 16名、2歳児 24名 3歳児 25名、4歳児 25名、5歳児 24名 合計 126名
------	---

3. 年間行事

【主な行事】

4月5日(金)	入園のつどい	11月19日(火)	親子遠足(5歳児)
5月9日(木)	夏野菜の苗植え 5歳児	12月20日(金)	冬のお楽しみ会
5月10日(金)	名張小学校桜見学	令和7年1月 7日(火)	新年のつどい
7月2日(火)	水遊び開始	2月8日(土)	生活発表会
7月5日(金)	七夕会	2月19日(水)	名張小学校見学(5歳児)
7月25日(木)	夏のお楽しみ会	2月21日(金)	親子交流会(2歳児)
8月3日(土)	お久しぶり1年生	2月28日(金)	親子交流会(1歳児)
8月9日(金)	へいわのつどい	3月7日(金)	入園説明会
10月18日(金)	獅子舞見学	3月14日(金)	お別れ会
10月31日(木)	秋の遠足(幼児組)	3月26日(水)	卒園式

毎週火曜日…異年齢交流にこにこデー(幼児クラス)

年 4回……サッカー教室(5歳児)

毎月 1回……おえかきであそぼう(5歳児)

えいごであそぼう(5歳児)

(2) 適切な運営体制確立

適正な職員体制を維持し、安定した保育を展開すべく保育環境を整え、カリキュラムに沿った保育を展開しました。また、計画に沿って保育備品を購入し、良好な保育環境の維持更新に努めました。

1. 施設環境の整備

環境整備	・2 歳児空調機取替 ・乳児室フローカーペット貼替 ・園庭屋外時計取替 ・給食用リフト修繕 ・園庭固定遊具メンテナンス（雲梯・トンネル） ・保育室及び職員室照明器具取替 ・手洗い場アクリルパネル取替
保育備品購入	・造形ワゴン ・4 歳児用机 ・ウォシャブルベンチ ・0 歳児保育室用パーテーション ・幼児用タオル掛け ・0 歳児用ベビー椅子 ・午睡用ゴザシート ・縄跳びポール

2. 健康管理の推進

看護師を配置し、園児や職員の健康管理や怪我の対応等を適切に行い、子どもの健康や安全の維持に努めました。

内科健診	4 月 25 日（木）、10 月 24 日（木）
尿検査	4 月 12 日（金）
歯科検診	7 月 4 日（木）
5 歳児健診	6 月 17 日（月）、11 月 20 日（水）
身体計測	乳児（毎月）、幼児（隔月）
視力検査	11 月 6 日（水）（5 歳児）、2 月 28 日（金）（4 歳児）

- ・職員の健康診断
- ・給食・調乳に係る職員の検便（月1 回以上）
- ・乳児室給食室の防虫及び除菌対策（可動式除菌・害虫駆除器設置）

3. 防災計画実施と交通安全指導の推進

年間計画を立て、毎月 1 回避難訓練を実施しました。また、名張警察署及び交通安全アドバイザー指導による交通安全教室を開催しました。

①避難訓練実施

4 月	話を聞く（火災・地震）	10 月	地震（第2避難場所）
5 月	火災（給食室）	11 月	火災（事務所湯沸かし室）
6 月	地震	12 月	火災（給食室）通報訓練
7 月	火災（乳児室）	1 月	地震

8 月	風水害	2 月	火災（給食室）
9 月	不法侵入	3 月	総合訓練

③ 交通安全教室（指導）実施

6月19日（水）	交通安全教室実施
令和7年3月13日（木）	交通安全教室実施

4. 保護者との連携

保育 ICT のよりよい運用について検討し、保護者との連携強化を見込んだ機能を追加しました。見通しの良い保育を目指し、ドキュメンテーション機能を活用して、日々の保育を共有と信頼関係の構築に努めました。

5. 地域交流

地域交流を通して、子どもたちの社会性を育み、地域社会とのつながりを深める保育に努めました。

- ① 園外散歩（随時）鍛冶町公園、豊後町公園、朝日公園、カルチャーパーク
- ② 城下川の花筏見物
- ③ 地元神社の境内散策及び秋祭り子供神輿参加（寿栄神社、宇流富志禰神社）
- ④ 名張地区まちづくり推進協議会との交流（名張竹行灯作り）
- ⑤ やなせ宿絵画展示、見学
- ⑥ 南町獅子神楽保存会との交流 など

6. 読書活動の推進

子どもの興味や発達に応じた絵本を購入し、お話を月一回開催しました。また、絵本の紹介や子どもの読書の様子を伝える「えほんのとびら」を発行し、保護者への読書啓発に繋がりました。

7. ふれあい活動・高齢者との交流

- ① 小、中、高校生とのふれあい活動
- ② 職場体験（名張中、赤目中、南中、名張高）
- ③ ふれあいデイサービスの利用者の方との交流。
 - ・入園式、卒園式、運動会等行事用装飾の共同制作
 - ・ふれあいデイサービス訪問

8. 職員の資質向上の推進

年間計画を立て、園内研修を進めるとともに、外部研修にも積極的に参加しました。また、保育士の技能・経験に応じて各種リーダー（乳児・幼児・発達支援・子育て・食育・図書・保健・アレルギー・栄養管理等）に任命しキャリアアップに繋がりました。

①研修内容

園内研修	・人権保育 ・障害児保育 ・公開保育 ・乳児保育 ・幼児保育
園外研修	・な同会（なばりの同和保育を考える会）・危機管理 ・障害児保育 ・乳児保育 ・幼児保育 ・食育 ・発達支援 ・運動遊び ・わらべうた ・保育実践 ・地域子育て ・保護者支援 ・三重保育士等キャリアアップ研修

②実習生の受入

実習目的	人数	学校名
保育実習	10 名	高田短期大学、甲南大、畿央大、白鳳短大 大阪樟蔭女子大、名張東大阪大、 大阪子ども専門学校、看護専門学校

(3) 特別保育事業

1. 低年齢保育事業の推進

生後 6 カ月より受け入れ、0 歳児～2 歳児まで 51 名の子どもを保育しました。年齢の発達に応じ、年間・月別に保育計画を持ち、一人ひとりの子どもの個別計画や個人記録をとり、保護者支援（育児相談やアドバイス、看護師による健康相談）を行いました。

2. 延長保育事業の推進

- ①延長保育 年間延べ利用人数 163 名
- ②スポット保育 突発的な保育延長に対応しました。

3. 個別乳幼児特別支援事業の推進

個別支援計画を立て、発達支援センター等関係機関と連携し、障害児保育を行いました。また、5 歳児健診、定期巡回訪問、就学前教育相談を行い、途切れのない発達支援を行いました。

4. 異年齢交流の推進

毎週火曜日ににこにこデーを開催し、3.4.5 歳児で、体操やふれあい遊びを行いました。

5. 一時預かり保育事業の推進

保護者の就労や疾病、育児に伴う心理的・肉体的負担の解消など私的な理由やその他の事由により保育を必要とする児童を、延べ 80 名預かりました。

	利 用 児 童 数						
	半 日			一 日			
	① 勤務 形態等	② 緊急 一時的	③ 私的 理由等	① 勤務 形態等	② 緊急 形態等	③ 私的 理由等	計
合計	2	2	2	40	14	20	80

6. 家庭支援保育の推進

家庭推進保育士 2 名を配置し、家庭の状況を把握して一人一人の子どもの心身の状態を考慮した適切な家庭支援を行うことに努めました。また、保護者の気持ちに寄り添い、子育て相談に応じ保護者支援を行いました。

(4) マイ保育ステーションの取り組み(地域の子育て支援事業の推進)

乳幼児の発達を踏まえ、親子が安心して過ごせる遊び場を提供しました。

また、育児相談や一時預かりサービス利用を通して、地域の子育て支援拠点として事業に取り組みました。

1. マイ保育ステーションの実績

項目	人数	内容
新規登録	131 名	未就園児、妊婦さんの登録者
利用人数	延べ 2,613 名	0 歳児とその親の利用が全体の半数を占め、全て 3 歳未満児です。妊婦は延べ 23 名利用されました
一時預かり無料体験	99 名	年 1 回、午前もしくは午後の半日無料で一時預かり保育をしました

2. 毎月の行事内容

行事	実施内容
作って遊ぼう	ステーションの保育士と一緒に制作遊びをしました
ステーションで遊ぼう	親子で楽しめる体験や季節の手遊びなどを紹介しました
絵本大好き	ステーションの保育士が絵本やパネルシアターでお話をしました
誕生日会	お誕生日カードをプレゼントして、誕生日会をしました
身体計測	乳幼児用計測器を使って看護師が身体計測をしました
その他	毎日園庭を開放し保育園の遊具や玩具を使って遊びました